

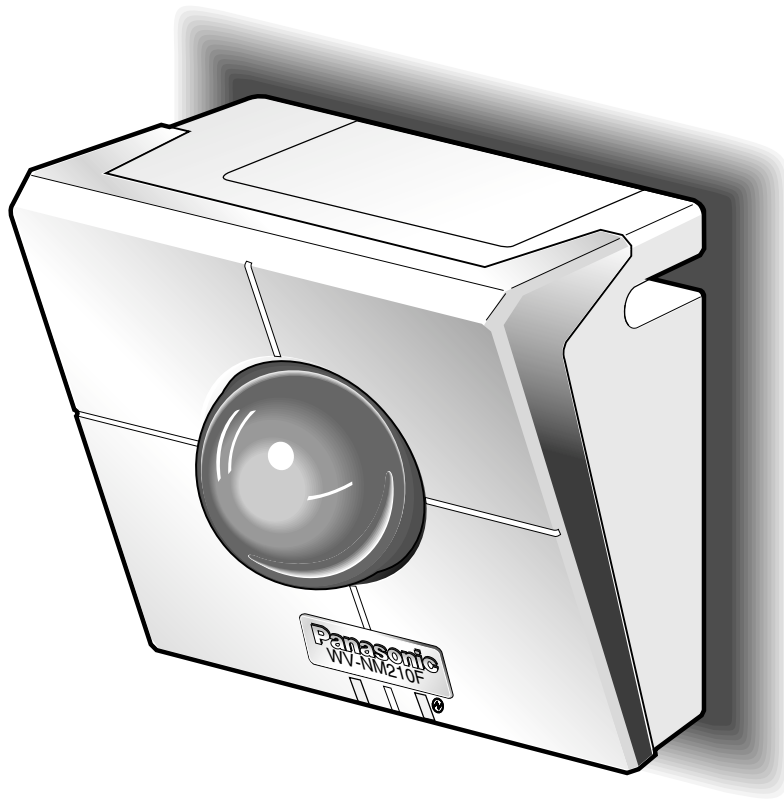
Panasonic

取扱説明書 応用編

工事説明付き

ネットワークカメラ

品番 WV-NM210F



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、ネットワークカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（10～12ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

1 商品概要

はじめに

本機ネットワークカメラWV-NM210Fはカード型FOMA端末（FOMA P2402）（以下、カード型FOMA）を差し込むことによって、FOMA端末から本機の映像と音声を確認し、本機の操作・設定ができるネットワークカメラです。

FOMA端末から操作できる！

本機にカード型FOMAを差し込むことにより、FOMA端末から本機の映像と音声を確認したり、本機の操作や設定ができます。

iモード端末から操作できる！

本機をインターネットに接続することにより、iモード端末から本機の画像を確認したり、本機の操作や設定ができます。

PCのウェブブラウザから操作できる！

本機をネットワークに接続することにより、PCから本機の画像を確認したり、本機の操作や設定ができます。

本機へのアクセスを制限できる！

本機に接続させたいFOMA端末の電話番号や名前、アクセスレベルをあらかじめ登録しておくこと、登録されている番号以外からの着信を拒否できます。

また、ユーザー名とパスワードをあらかじめ登録しておくことによって、iモード端末やPCからアクセスできるユーザーを制限することができます。

付属品をご確認ください

本機を使用する前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。

万一、不足している物がありましたら、お手数ですが、お買い上げの販売店にご連絡ください。

取扱説明書 基本編	1
CD-ROM	1
ラベル（MACアドレス）	1
保証書	1

以下の付属品は取付工事に使用します。

ACアダプター	1
ウォールマウント	1
取付ねじ	2
コードカバー取付ねじ	2

本書について

本書は以下のように構成されています。

FOMA端末およびカード型FOMAの操作方法およびご使用上の注意点につきましては、基本編と応用編の取扱説明書をお読みください。

はじめに

本機の概要と取り扱い上の注意など、本機を操作するまでに必要な事項を説明しています。操作を始める前に必ずお読みください。

FOMA端末から操作する

FOMA 端末から本機を操作する場合の操作方法を説明しています。FOMA端末から本機の映像を見る場合は、「まずは、使ってみよう！」の「映像を確認する」をお読みください。登録したプリセット位置の映像を見る方法やアラーム時の操作など、FOMA端末から本機を制御する方法については、「もっと使いこなそう！」をお読みください。

iモード端末から操作する

iモード端末から本機を操作する場合の操作方法を説明しています。iモード端末から本機の操作を行う場合は、まず、本機のネットワーク設定が必要です。「設置とネットワークの設定を行う」の「本機のネットワーク設定を行う」に記載されている順序に従って設定してください。本機の画像を見る場合は、「画像を見る」をお読みください。

PCから操作する

PCから本機の画像や情報を見るときに操作方法と画像表示中にできる操作について説明しています。

アラームについて

本機で検出されるアラームの種類と、アラームが検出されたときの動作について説明しています。

設定する

本機のスイッチから本機の設定を行う方法、FOMA端末、iモード端末から本機の設定を行う方法、PCのウェブブラウザを使って本機の設定メニューから本機の設定を行う方法について説明しています。

設置とネットワークの設定を行う

カード型FOMAの取り付けかたや、本機のネットワーク設定のしかたについて説明しています。

その他

トラブルシューティングや仕様、当社の保証とアフターサービスについて記載しています。このほか、エラーメッセージの一覧やFOMA端末のDTMF機能を使って操作できる内容の一覧を記載しています。必要に応じてお読みください。

1 必要な動作環境

本機を利用するには、カード型FOMA (P2402) をCFカードスロットに差し込む必要があります。(→90ページ) FOMA端末およびiモード端末の対応機種はホームページを参照してください。ホームページのアドレスは付属CD-ROM内のReadmeをお読みください。

また、本機の設定には、以下のシステム環境を持つPCが必要です。

対応OS	: Microsoft® Windows® 2000、Windows® XP
コンピューター	: PC/AT互換機
CPU	: Pentium® 4 (2.4 GHz) 以上推奨
メモリ	: 512 MB以上
インターフェース	: 10/100 MbpsのEthernetカードが内蔵されていること
ウェブブラウザ	: Microsoft® Internet Explorer 6.0SP2
CD-ROMドライブ	: CD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要
Adobe® Reader®	: CD-ROM内の取扱説明書を参照するために必要

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows XPは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、インテル、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- 「FOMA/フォーマ」「i-mode」ロゴは、NTTドコモの登録商標です。
- 「FOMA」ロゴ「iモード」は、NTTドコモの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

- 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版をWindows 2000と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版をWindows XPと表記しています。

免責について

この製品は、盗難などを未然に防止するものではありません。
製品の仕様はお断りなく変更になる場合があります。

●携帯電話／カード型FOMAの料金について

本機を利用するには、使用するカード型FOMAの契約に応じた月額基本使用料および通信時間に応じた通信料などが必要となります。

●通信料について

- ・本機では通信（映像表示）時に通信時間に応じて課金されるデジタル通信料が適用されます。
- ・FOMA端末より本機にテレビ電話をかけた場合は、FOMA端末に通信料が発生します。また、本機のアラーム発信機能を使ってFOMA端末にテレビ電話をかけた場合は、本機に装着しているカード型FOMAに通信料が発生します。

●本機の設置場所について

本機に装着するカード型FOMAは無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所、電波の弱い場所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。

●本機の機能について

FOMA網側の状態や規定により、アラーム発信時に接続ができない場合があります。
本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約1分間操作できません。また、再起動後は、カメラ内部に保存されたアラーム画像、アラーム履歴、エラーログが消失してしまいます。

●本機の利用について

本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律、条令（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

本機を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

●カード型FOMAについて

カード型FOMAをご使用の際は、カード型FOMAの取扱い上の注意をご確認ください。

●カード型FOMA（または本機）の盗難について

カード型FOMAまたは本機の盗難については、お客様ご自身で管理くださるようお願い致します。万が一、盗難にあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●登録した情報内容について

本機に登録した情報内容は、メモをとるなどして保管してください。万一、登録した情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

もくじ

1

はじめに

はじめに

1

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
本書について	3
必要な動作環境	4
商標および登録商標について	4
著作権について	4
略称について	4
免責について	5
安全上のご注意.....	10
取り扱い上のご注意.....	13
各部の名前	14
アラーム端子・AUX出力端子について	15

FOMA端末から操作する

2

まずは、使ってみよう！	16
準備する	16
映像を確認する	16
本機を制御する	17
映像の水平位置・垂直位置（パン・チルト）を調節する	17
映像の明るさを調節する	18
映像をズームアップ／ダウンする	18
音声の通信モードを切り替える	19
本機のマイク音量を調節する	20
TV電話の画質を設定する	20
もっと使いこなそう！	21
プリセット位置の映像を見る	21
プリセットスキャンを行う	22
AUX出力端子の状態を設定する	22
ライブ映像とアラーム画像を切り替えて確認する	23
本機に保存されたアラーム画像を確認する	23

3 iモード端末から操作する

画像を見る	24
カメラの画像を見る	24
最新の画像に更新する	25
本機を制御する	26
本機の水平位置・垂直位置（パン・チルト）を調節する	26
画像をズームアップ／ダウンする	27
画像の明るさを調節する	28
プリセット位置の本機の画像を見る	29
AUXの出力端子の状態を設定する	30

4 PCから操作する

表示用プラグインソフトウェアをインストールする	31
画像を見る	32
画面の見かた	33
カメラ情報ページについて	33
ライブページについて	35
ライブページ表示中にできる操作	36

5 アラームについて

アラーム発生時の動作について	37
アラームの種類について	37
アラーム発生時の動作について	37

6 設定する

本機のスイッチから設定する	38
電話番号を登録する	38
初期化する	39
FOMA端末から設定する	40
プリセット位置を登録する	40
音声モードのON／OFFを設定する	41
端子アラームのON／OFFを設定する	41
VMDアラームのON／OFFを設定する	42
VMDエリアを設定する	43
VMD検出感度を設定する	43

着信制限のON/OFFを設定する	44
自動再発信のON/OFFを設定する	45
本機の設置状態を設定する	45
iモード端末から設定する	46
端子アラームのON/OFFを設定する	46
VMDアラームのON/OFFを設定する	47
VMDエリアを設定する	48
VMD検出感度を設定する	48
画像サイズを設定する	49
FTP定期送信のON/OFFを設定する	50
本機の設置状態を設定する	50
本機を再起動する	51
PCから設定メニューを表示して設定する ..	52
設定メニューを表示する	52
設定メニューの操作画面について	54
システムに関する設定を行う [システム設定]	55
基本設定を行う [基本設定]	55
NTPサーバーに関する設定を行う [NTP設定]	57
本機の画質や動作に関する設定を行う [カメラ設定]	58
画質に関する設定を行う [画像設定]	58
ホームポジションへ戻るまでの時間を設定する [画像設定]	60
パン/チルトのリフレッシュを実行する [画像設定]	60
プリセット位置を登録する [プリセット設定]	61
音声に関する設定を行う [音声設定]	62
アラームに関する設定を行う [アラーム設定]	64
アラーム動作に関する設定を行う [アラーム設定]	64
モーションディテクターの検出範囲を設定する [VMDエリア設定]	66
メール通知に関する設定を行う [通知設定]	67
ユーザー認証に関する設定を行う [認証設定]	69
ネットワークに関する設定を行う	71
ネットワークに関する基本設定を行う [ネットワーク設定]	71
DDNSに関する設定を行う [DDNS設定]	73
FTPサーバーへの画像送信に関する設定を行う [FTP設定]	74

FOMA端末から本機を操作する場合の発信・着信に関する設定を行う	
【電話機能設定】	77
本機への着信に関する設定を行う [着信設定]	77
本機からの発信に関する設定を行う [発信設定]	79
第1優先、第2優先、自動再発信を設定したときの動作について	80
着信履歴を確認する [着信履歴]	81
アラーム履歴を確認する [アラーム履歴]	82
本機のメンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス]	84
本機の現在の状態を確認する [状態表示]	84
エラーログを確認する [エラーログ]	85
ファームウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ]	86
初期化する [初期化]	88

7 設置とネットワークの設定を行う

設置する	90
本機にカード型FOMA端末 (FOMA P2402) を取り付ける	90
本機を設置する	90
本機のネットワーク設定を行う	92
ネットワーク設定の流れ	92
接続を始める前に	93
インターネット接続機器と接続する	93
IP簡単設定ソフトウェアを使って本機のネットワークを設定する	95

8 その他

エラー表示について	98
DTMF一覧	101
故障かな!?	103
仕様	109
本機	109
その他の仕様	109

安全上のご注意

必ずお守りください

1

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

故障したり、火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

本機およびACアダプターをぬらさない



水ぬれ禁止

近くに、花瓶、コップなどを置かないでください。発火、感電の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

本機やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちにACアダプターを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

⚠ 警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

ACアダプターのプラグほこりなどは定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一型プラグ）以外は使用しない



禁止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

雷のときは工事配線しない



禁止

火災や感電の原因になります。

ACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

火気を近づけない



火気禁止

火災の原因になることがあります。

屋内用を屋外に設置しない



禁止

屋内用機器を屋外に設置すると、雨などで取り付け部が劣化し、落下などの事故の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

1

はじめに

⚠ 注意

可燃性雰囲気中で使用しない



禁止

爆発し、けがの原因となります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない



水場使用禁止

故障や感電、ショートの原因になります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

長時間使用しないときやお手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く



漏電・感電の原因になることがあります。

本機を壁などに取り付けて使用するときには、堅固・確実に取り付ける



落下によりけがの原因になることがあります。

取り扱い上のご注意

⚠ 警告、**⚠ 注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度40℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度0℃～+40℃、湿度は90%以下の場所でお使いください。（常時通電状態でお使いになる場合）
- カード型FOMA装着時は、カード型FOMAの環境条件でお使いください。

本機は通電状態でご使用いただくことを基本としています

寒い環境で電源を入れた場合、安定動作するまで数分間かかることがあります。

ドームカバーに直接触れないでください

カバーが汚れると画質劣化の原因となります。本機を移動するときは側面をお持ちください。

ドームカバーに強い衝撃を与えないでください

破損、浸水の原因となります。

強い光に本機を向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。

取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

屋内でのみ使用してください

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

使用電源は付属の専用ACアダプターを使用する

ACアダプターの電源はAC100V（50/60Hz）です。また、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じACコンセントからは電源をとらないでください。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

瞬時電圧低下について

本機は、落雷等による電源の瞬時電圧低下の際に不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策として、交流無停電電源装置等のご使用をお勧めします。

内蔵バックアップ電池について

初めて使用するときは48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。

お手入れは

お手入れは電源を切って行ってください。けがの原因になります。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

汚れがひどいときは

うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。そのあと、乾拭きしてください。

きれいな画面を見るためには

1か月に一度程度、ドームカバーを清掃すると、きれいな画面を見ることができます。

使用するパソコンについて

パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

ブロードバンドルーターについて

本機をインターネットに接続する場合、ルーターを使用するときは、ポートフォワーディング機能（NAT、IPマスカレード）付きのブロードバンドルーターをご使用ください。ポートフォワーディング機能の概要については94ページをお読みください。

異常検出時、自動的に再起動を行います

本機は、何らかの原因で異常を検出すると自動的に再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約1分間操作できません。

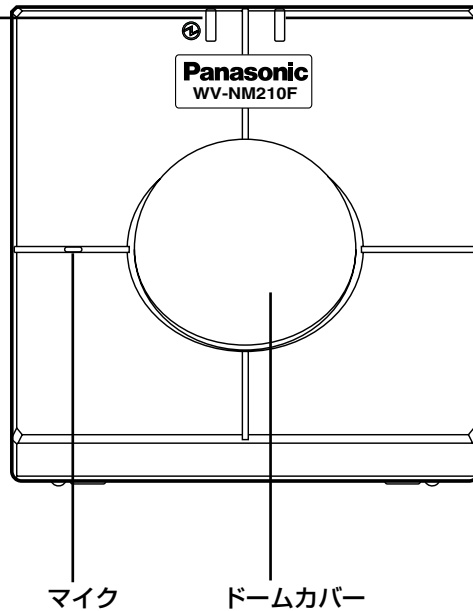
各部の名前

1 前面

は
じ
め
に

パワーLED

システム設定ページの「基本設定」タブでLED表示の点灯/全消灯を設定できます。(→55ページ)
点灯設定時、本LEDは本機のアクセスが行われているとき点滅します。



状態表示LED

システム設定ページの「基本設定」タブでLED表示の点灯/全消灯を設定できます。(→55ページ)
点灯設定時、音声ありの場合やエラー発生時、ファームウェアのバージョンアップ時に本LEDが点灯または点滅します。

オレンジ点灯：マイクモード
(FOMA端末←本機)

双方向モード

(FOMA端末↔本機)

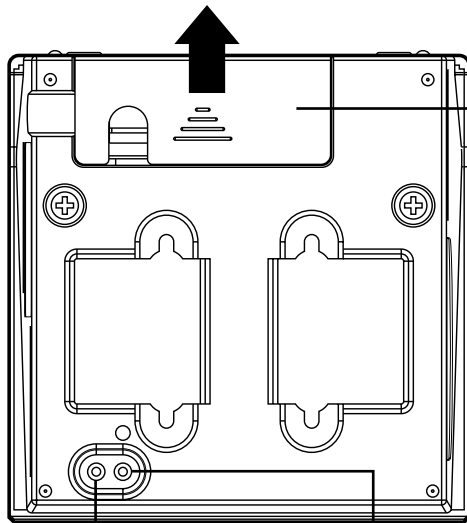
オレンジ点滅：スピーカーモード
(FOMA端末→本機)

消灯：音声なし

赤点灯：エラー時、カード型FOMAが取り付けられていないとき

赤点滅：バージョンアップ中

後面



電話番号登録スイッチ

スイッチを長押し(約3秒)すると、通信中のFOMA端末の電話番号が本機に登録されます。(→38ページ)

初期化スイッチ

スイッチを押しながらACアダプターをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続け、その後スイッチを離れた状態で通電したまま放置してください。本機のパン/チルト動作が完全に終了した段階で、設定メニューの設定内容、HTMLデータ、ネットワーク設定の初期化が完了します。初期化には約1分かかります。(→39ページ)

アラーム端子

電源プラグ入力(付属の専用ACアダプターを使用してください)


Ethernetコネクター

リンクLED
接続機器と通信が可能になると点灯します。

アクセスLED
ネットワークにアクセスしているときに点灯します。

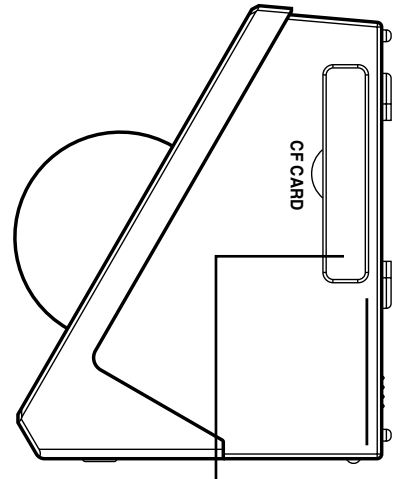
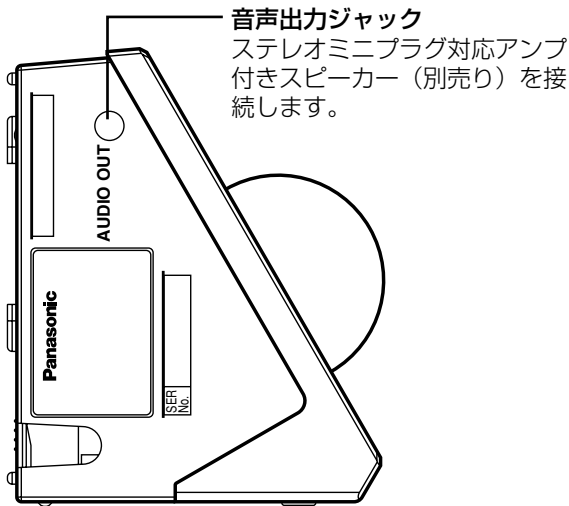
【コードカバー内部】

コードカバー

外すときは、部を内側に押し付けながら矢印方向にスライドしてください。

重要!

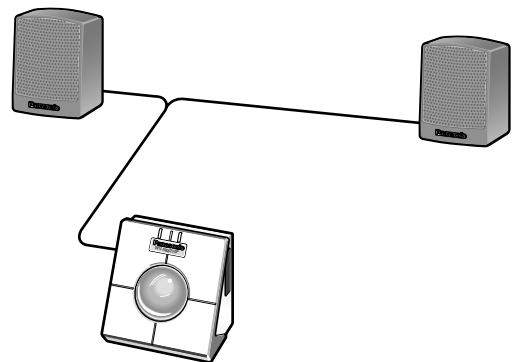
ACアダプターは、本機電源プラグ入力部および電源コンセントにしっかりと差し込んでください。



カードキャップ
カードキャップを開いて、CFカードスロットにカード型FOMAを差し込みます。
(→90ページ)

重要！

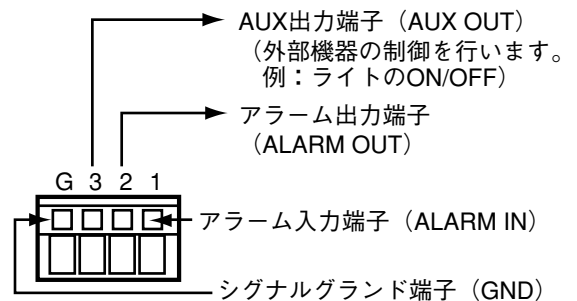
本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカーを接続する場合は、本機とスピーカーを離して設置してください。



アラーム端子・AUX出力端子について

コードカバー内部のアラーム端子に外部機器を接続すると、本機に以下のような動作を行わせることができます。

- アラーム入力端子にセンサーなどの外部機器を接続すると、接続した外部機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- アラーム出力端子に外部機器を接続すると、アラームを検出したときにアラーム信号を出力します。
- AUX出力端子に外部機器を接続すると、外部機器を制御できます。



重要！

外部機器接続時は、本機の定格を超えないように注意してください。

FOMA端末から操作する

まずは、使ってみよう！

2

FOMA端末で本機の映像を見る方法と、FOMA端末から本機を制御する操作方法について説明します。

重要！

- 本機をご使用になる前にカード型FOMAを取り付ける必要があります。
取り付けかたは90ページをお読みください。
- TV電話通信中は、本機とiモードとの通信、ライブページの表示、FTP送信ができません。これらの操作を行うときは、TV電話を切断してください。

準備する

映像を確認する前に、本機の電源を入れ、パワーLEDと状態表示LEDが正しく点灯していることを確認してください。

STEP1

ACアダプターをコンセントに差し込みます。

STEP2

パワーLEDが緑に点灯し、状態表示LEDが赤に点灯していることを確認します。

STEP3

パン／チルト動作が完了し、状態表示LEDが赤に点灯していないことを確認します。
→本機の操作ができるようになります。

映像を確認する

FOMA端末から本機の映像を確認します。

STEP1

FOMA端末から本機に装着されたカード型FOMAの電話番号にTV電話発信します。TV電話発信の方法は、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。電話番号の確認方法はカード型FOMAの取扱説明書に記載されています。
→本機に接続し、FOMA端末でカメラ映像と音声を確認できます。

補足

本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー（別売り）を接続し、音声をマイクモードからスピーカーモードまたは双方向モードに切り替える（→19ページ）と、FOMA端末からの音声を本機と接続したスピーカーから聞くことができます。

本機を制御する

本機のライブ映像を表示中に、DTMF信号（プッシュ信号）を使って本機を操作できます。

重要！

- 着信制限が「ON」のときは、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上に設定されている電話番号のFOMA端末からのみ本機を制御することができます。着信制限が「OFF」のときは、電話番号を登録していないFOMA端末からも本機を制御することができます。アクセスレベルについては、78ページをお読みください。
- FOMA端末または本機の周辺が騒がしい場合や電波の弱い場所では、DTMF信号で本機の制御ができないことがあります。
- FOMA端末側でハンズフリーを設定すると、DTMF操作ができなくなる場合があります。

補足

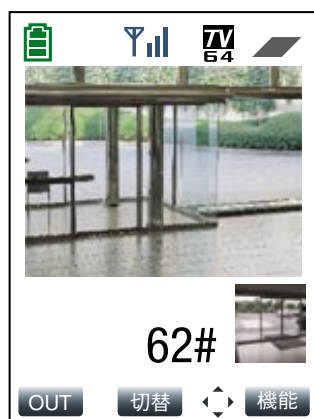
以下の操作は、DTMF送信の手順です。詳しくはFOMA端末の取扱説明書をお読みください。ここでは、P900iを例に説明しています。

映像の水平位置・垂直位置（パン・チルト）を調節する

カメラ映像の水平位置、垂直位置を調節します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、本機カメラの向きを移動します。

右に移動： [6] → ([1] ~ [9]) → [#]

左に移動： [4] → ([1] ~ [9]) → [#]

上に移動： [2] → ([1] ~ [9]) → [#]

下に移動： [8] → ([1] ~ [9]) → [#]

([1] ~ [9]) はステップ数を表します。押した数字ボタンのステップ分移動します。例えば [6] → [2] → [#] を押すと、2ステップ右に移動します。

([1] ~ [9]) の手順は省略できます。

1ステップだけ移動する場合は、上下左右いずれかに移動するボタン ([6]、[4]、[2]、[8] ボタンのいずれか) → [#] で移動できます。ステップ数を指定する必要はありません。

<ワンタイムパン>

[1] → [0] → [#] を押すと、映像を左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングすることができます。

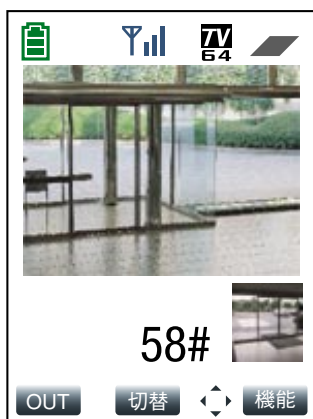
まずは、使ってみよう！（つづき）

映像の明るさを調節する

2 カメラ映像の明るさを調節します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、明るさを調節します。

暗くする : [5] → [8] → [#]

明るくする : [5] → [2] → [#]

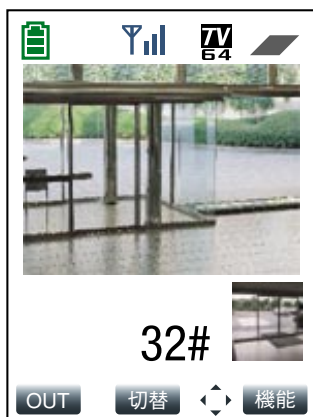
工場出荷時「(0)」の明るさにする
: [5] → [5] → [#]

映像をズームアップ／ダウンする

カメラ映像の倍率を調節します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、ズームを調節します。

拡大する : [3] → [2] → [#]

縮小する : [3] → [8] → [#]

等倍にする : [3] → [5] → [#]

音声の通信モードを切り替える

FOMA端末からの音声の通信モードを切り替えます。通信モードには、「スピーカーモード」、「マイクモード」、「双方向モード」の3つがあります。

- スピーカーモード : FOMA端末からの音声を本機に接続したスピーカーから聞くことができます。
- マイクモード : 本機からの音声をFOMA端末で聞くことができます。
- 双方向モード : FOMA端末と本機の間で音声のやりとりを行うことができます。

「スピーカーモード」、「双方向モード」に設定した場合は、ステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー（別売り）との接続が必要です。

重要！

「音声モード」を「ON」に設定してください。「OFF」に設定していると、FOMA端末からの音声の操作は無効になります。工場出荷時は「ON」に設定されています。設定のしかたは、41ページ（FOMA端末から）、62ページ（PCから）をお読みください。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、音声の通信モードを切り替えます。

- スピーカーモード : [0] → [3] → [#]
 マイクモード : [0] → [1] → [#]
 双方向モード : [0] → [5] → [#]

補足

「スピーカーモード」、「双方向モード」に設定しているときにDTMF操作を行うと、本機に接続されたスピーカーから操作音が聞こえます。

まずは、使ってみよう！（つづき）

本機のマイク音量を調節する

2

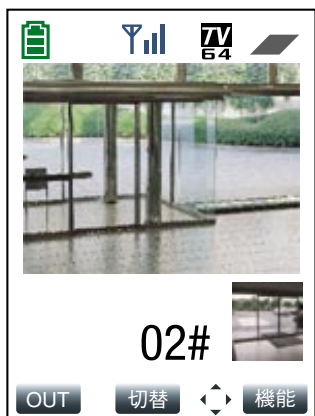
本機のマイク音量を調節します。

重要！

マイク音量の調節は、「マイクモード」、「双方向モード」のときに有効になります。音声を「マイクモード」または「双方向モード」に切り替えてから操作してください。「スピーカーモード」のときは、マイク音量を調節しても無効になります。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、音量を調節します。

音量をミュートする： [0] → [0] → [0] → [#]

ミュートを解除する： [0] → [0] → [1] → [#]

音量を大きくする： [0] → [2] → [#]

音量を小さくする： [0] → [8] → [#]

TV電話の画質を設定する

TV電話通信中にFOMA端末の画質設定機能を使ってTV電話中の画質を設定できます。画質は、以下から選択できます。

標準：画質、動きを標準で表示します。

画質優先：画質を重視して表示します。

動き優先：動きを重視して表示します。

画質設定機能の設定方法について詳しくは、お使いのFOMA端末の取扱説明書をお読みください。

もっと使いこなそう！

あらかじめ登録したプリセット位置のカメラ映像を見たり、アラーム画像を確認するなど、本機をより便利に使いこなすための方法を説明します。

操作はDTMF信号を使って行います。

補足

以下の操作は、DTMF送信の手順です。詳しくはFOMA端末の取扱説明書をお読みください。

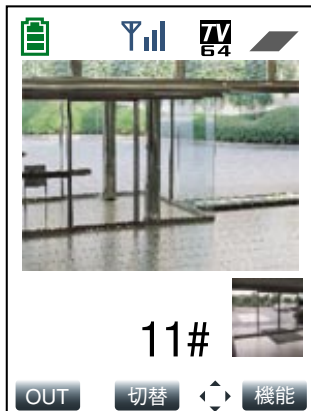
ここでは、P900iを例に説明しています。

プリセット位置の映像を見る

あらかじめ登録してあるプリセット位置へ本機カメラの向きを移動して、映像を確認します。プリセット位置を登録する方法は、40ページ（FOMA端末から）、61ページ（PCから）をお読みください。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、プリセット位置へ本機カメラの向きを移動します。

プリセット番号1に移動： [1] → [1] → [#]

プリセット番号2に移動： [1] → [2] → [#]

プリセット番号3に移動： [1] → [3] → [#]

プリセット番号4に移動： [1] → [4] → [#]

プリセット番号5に移動： [1] → [5] → [#]

プリセット番号6に移動： [1] → [6] → [#]

プリセット番号7に移動： [1] → [7] → [#]

プリセット番号8に移動： [1] → [8] → [#]

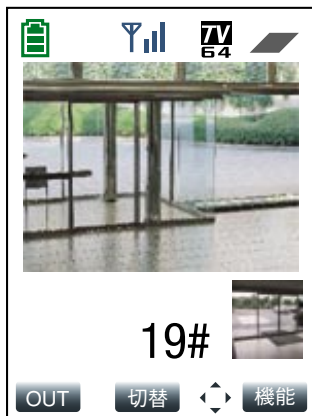
プリセットスキャンを行う

2

プリセットスキャンの対象となっているプリセット位置へ本機カメラの向きを移動します。
プリセットスキャンの登録方法は、40ページ（FOMA端末から）、61ページ（PCから）をお読みください。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

[1] → [9] → [#] を押してプリセットスキャンを開始します。

補足

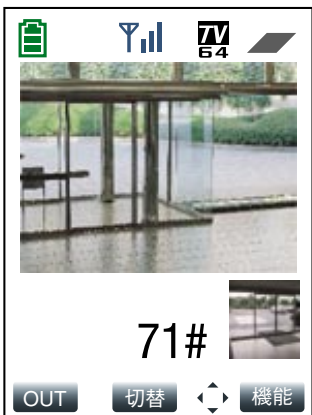
プリセットスキャン時にパン・チルトなど本機の操作をした場合、プリセットスキャンは途中で止まり、本機の操作が優先されます。

AUX出力端子の状態を設定する

本機のAUX出力端子の状態を設定できます。
AUX出力端子に接続する外部機器の仕様に合わせてHigh/Lowで設定します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、High/Lowのどちらかに設定します。

High : [7] → [1] → [#]

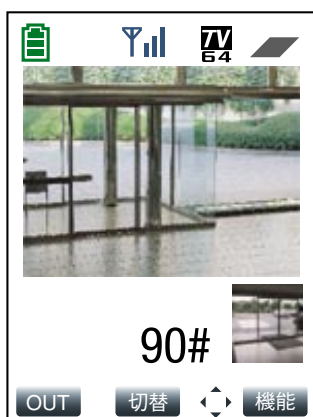
Low : [7] → [0] → [#]

ライブ映像とアラーム画像を切り替えて確認する

アラームを検出したときに、本機のライブ映像とアラーム画像を切り替えて表示します。アラーム発信先に登録（→79ページ）されている電話番号からのみ操作できます。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、本機のライブ映像とアラーム画像を切り替えます。

ライブ映像にする : [9] → [0] → [#]

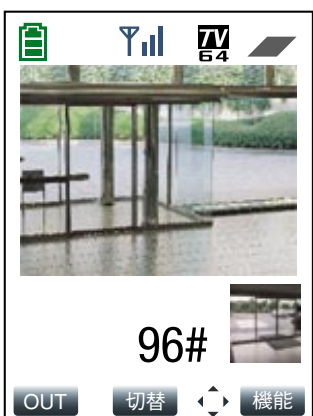
アラーム画像にする : [9] → [1] → [#]

本機に保存されたアラーム画像を確認する

本機に保存されたアラーム画像（最大10枚）を確認します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

[9] → [1] → [#] を押して、アラーム画像に切り替えます。

→アラーム検出直後のアラーム画像が表示されます。

STEP2

数字ボタンを押して、アラーム画像を順に確認します。

1つ後ろの画像に進む : [9] → [6] → [#]

1つ前の画像に戻る : [9] → [4] → [#]

iモード端末から操作する

画像を見る

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、カメラ画像を確認します。表示中に、最新の画像に更新することもできます。

3

重要！

認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名：admin

パスワード：0000

ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

補足

iモード端末からカメラ画像を見るには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。(→71、95ページ)

iモード端末から操作する

カメラの画像を見る

ネットワーク設定(→71ページ)を行うと、本機の画像を確認できます。確認できる画像は静止画(JPEG)のみです。

STEP1

iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i1/」を入力し、決定ボタンを押します。

画面1

画像が表示されます。



補足

- httpポート番号が80から変更されている場合、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i1/」を入力して本機のポート番号を指定してください。
- DDNS機能を設定している場合、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i1/」を入力してください。
- iモード端末によっては、画面が切り替わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- ユーザー認証が「OFF」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは、設定されたパスワードを入力してください。
- iモード端末からは本機の音声を聞くことはできません。

最新の画像に更新する

再度、本機にアクセスして、最新のカメラ画像に更新します。

画面1

本機の画像を表示している状態で操作します。(→24ページ)



STEP1

STEP1

[0] ボタンを押すか、[[0]更新] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

→最新の画像に更新されます。

本機を制御する

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、カメラ画像に関する各操作を行います。カメラ画像を見ながら、本機カメラの向きや画像の明るさ、サイズなどを調節することができます。

重要！

本機の制御（パン／チルトやプリセット位置へ移動など）は、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上のユーザーのみ操作できます。

3

本機の水平位置・垂直位置（パン・チルト）を調節する

カメラ画像の水平位置・垂直位置を調節します。

画面1

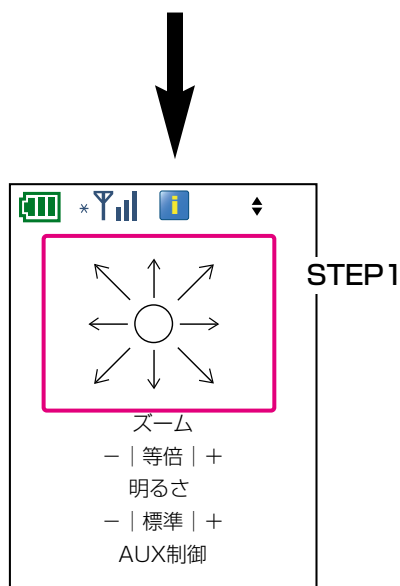
本機の画像を表示している状態で操作します。（→24ページ）



STEP1

8方向の矢印表示にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

→選択した矢印の方向に本機カメラの向きが移動します。



画像をズームアップ／ダウンする

カメラ画像のズーム倍率を調節します。

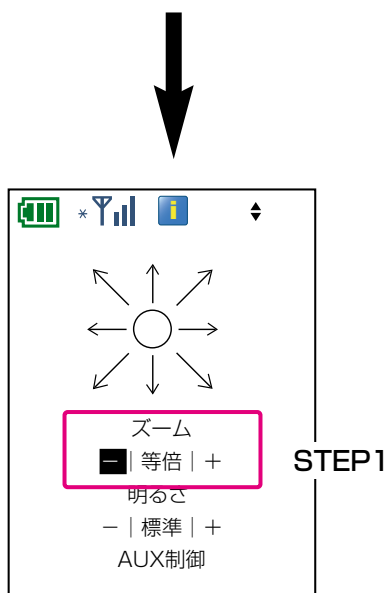
画面1

本機の画像を表示している状態で操作します。(→24ページ)



STEP1

「ズーム」の「[-]」にカーソルを移動して決定ボタンを押すと、画像が縮小されます。
「ズーム」の「[+]」にカーソルを移動して決定ボタンを押すと、画像が拡大されます。
倍率を元に戻したいときは、「等倍」にカーソルを移動して、決定ボタンを押します。



本機を制御する（つづき）

画像の明るさを調節する

カメラ画像の明るさを調節します。

3

画面1

本機の画像を表示している状態で操作します。（→24ページ）

iモード端末から操作する



STEP1

「明るさ」の「-」にカーソルを移動して決定ボタンを押すと画像が暗くなります。

「明るさ」の「+」にカーソルを移動して決定ボタンを押すと画像が明るくなります。

「標準」にカーソルを移動して決定ボタンを押すと、工場出荷時（「O」）の明るさで表示されます。



プリセット位置の本機の画像を見る

あらかじめ登録してあるプリセット位置へ本機カメラの向きを移動して、画像を確認します。プリセット位置を登録する方法については、61ページをお読みください。

画面1

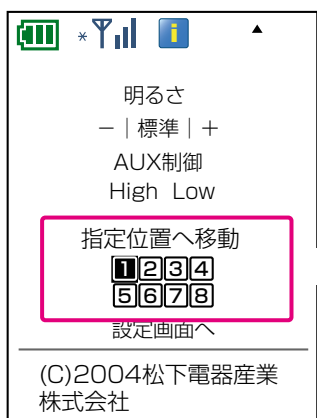
本機の画像を表示している状態で操作します。(→24ページ)



STEP 1

[1] ~ [8] ボタンを押すか、[[1]] ~ [[8]] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

→選択した番号に登録されているプリセット位置のカメラ画像が表示されます。



STEP 1

AUXの出力端子の状態を設定する

本機のAUX出力端子の状態を設定できます。
AUX出力端子に接続する外部機器の仕様に合わせてHigh/Lowで設定します。

3

画面1

本機の画像を表示している状態で操作します。（→24ページ）



STEP1

「High」に設定する場合は、「High」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

「Low」に設定する場合は、「Low」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。



STEP1

(C)2004松下電器産業株式会社

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

PCで本機の画像を見るには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」をインストールする必要があります。

補足

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」はMicrosoft® Internet Explorer専用です。その他のブラウザでは使用できません。
- PCの画面設定は「True Color24ビット」以上に設定してください。

STEP1

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入します。

STEP2

CD-ROM内にある「Setup.exe」をダブルクリックします。
→表示用プラグインソフトウェアのインストーラーが起動します。

STEP3

画面の指示に従ってインストールを行います。

画像を見る

PCから本機の画像を確認します。

補足

あらかじめ、ネットワークに関する設定を行う必要があります。本機のネットワークに関する設定は、付属CD-ROM内にあるIP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。(→95ページ)

4

PCから操作する

画面1

ブラウザが起動し、設定されているホームページが表示されます。



STEP1

PCのウェブブラウザを起動します。

STEP2

本機のIPアドレスをウェブブラウザの [アドレス] ボックスに入力し、[Enter] キーを押します。

(例：http://192.168.0.10)

→トップページが表示されます。

本機がTV電話中、設定中のときは「カメラ情報ページ」(→33ページ)が表示されます。

それ以外のときは「ライブページ」(→35ページ)が表示されます。

重要！

JPEGフレームレートは、ネットワーク環境、PCの性能、被写体、本機へのアクセス数により遅くなることがあります。

補足

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
- ユーザー認証を「ON」に設定した場合、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように入力されています。
ユーザー名：admin
パスワード：0000
ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。
- プロキシサーバーを経由しないようにウェブブラウザを設定してください。
- PCからは本機の音声を聞くことはできません。

画面の見かた

カメラ情報ページとライブページについて説明します。




カメラ情報ページについて

本機が設定中、TV電話中のときは、カメラ情報ページが表示されます。カメラ情報ページには、カード型FOMAの電波状態や現在の本機の設定状況などが表示されます。カメラ情報ページについて詳しくは34ページをお読みください。



「カメラ情報」の表示について

本機へのアクセス状態によって、「カメラ情報」の表示が以下のように変わります。

-  : 設定メニューにアクセスしているユーザーがいることを示しています。本機の画像を見ることはできません。
-  : 本機とTV電話中のユーザーがいることを示しています。本機の画像を見ることはできません。
-  : 設定メニューにアクセスしているユーザー、TV電話中のユーザーがいないことを示しています。画像の表示や明るさ、ズームなどの調節ができます。

画像を見る（つづき）

4

PCから操作する

カメラ情報

現在の本機の通信状態（設定中／TV電話中）を表示します。

CFカード情報

本機に差し込んでいるカード型FOMAに関する情報を表示します。

カード種別：カード型FOMAの種別が表示されます。
自局番号：カード型FOMAの電話番号を表示します。
通信時間／電波レベル
：通信中の場合、通信時間を表示します。
待機中の場合は、電波状態（電波レベル）が4段階で表示されます。
（圏外／弱／中／強）

カメラ設定情報

設置状態：現在の本機の設置状態（卓上／壁掛け）を表示します。設定のしかたについては、55ページをお読みください。

明るさ：映像・画像の明るさのレベルが表示されます。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、58ページをお読みください。

AUX制御：AUX出力端子の状態（High／Low）を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、35ページをお読みください。

音声設定情報

音声：音声モード（本機とFOMA端末間で音声データの送信／受信を行うかどうかのON／OFF設定）の設定状態を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、62ページをお読みください。

マイク音量：本機のマイク音量の設定レベル（Low／Middle／High）を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、62ページをお読みください。

アラーム設定情報

端子アラーム：端子アラーム（本機がアラーム信号の入力を受け付けるかどうかのON／OFF設定）の設定状態を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、64ページをお読みください。

VMDアラーム：VMDアラーム（モーションディテクター機能のON／OFF設定）の設定状態を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては、64ページをお読みください。

着信制限：着信制限（本機への着信を制限するかどうかのON／OFF設定）の設定状態を表示します。現在の状態が表示されます。設定のしかたについては77ページをお読みください。

【更新】ボタン

表示内容を最新の状態に更新します。

【ライブページ】ボタン

ライブページを表示します。ライブページについては、35ページをお読みください。

重要！

本機が設定中、TV電話中のときは、カメラ情報ページが表示されます。

【設定メニュー】ボタン

設定メニューを表示します。設定メニューについては、52ページをお読みください。

カメラ情報ページから初めて【設定メニュー】ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名：admin

パスワード：0000

ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。（→69ページ）

重要！

アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」または「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。

カメラ名称・日付時刻

本機の名称と現在の日付時刻を表示します。

【アラーム発生通知】ボタン

アラームを検出すると【アラーム発生通知】ボタンが表示されます。

ボタンをクリックすると【アラーム発生通知】ボタンが消え、アラーム端子出力がリセットされます。

重要！

アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

補足

「アラーム発生通知」ボタンは30秒に1回更新されます。このため、アラーム検出後に表示されるまで最大30秒の遅延が発生する場合があります。

ライブページについて

本機がTV電話中、設定中以外のおときはライブページが表示されます。
ライブページでは、本機の画像を確認できます。また、明るさ調節など本機の制御を行うこともできます。

補足

ライブページへ同時にアクセスできるのは4ユーザーまでです。
すでに4ユーザーがアクセスしているときにライブページへアクセスすると、アクセス数超過のメッセージが表示されます。その場合は、しばらくしてから実行してください。



[カメラ情報ページ] ボタン

カメラ情報ページを表示します。

[設定メニュー] ボタン※1

設定メニューを表示します。

プリセット移動※2

あらかじめ登録してあるプリセット位置へ本機カメラの向きを移動します。また、プリセットスキャンの対象になっている場合、プリセット番号の前に「*」が付きます。

[プリセットスキャン] ボタン※2

プリセットスキャンの対象となっているプリセット位置へ本機カメラの向きを移動します。

[ワンタイムパン] ボタン※2

本機カメラの向きを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングすることができます。

パン・チルト※2

各「▲」をクリックすると、クリックした方向へ本機カメラの向きが移動します。

[アラーム発生通知] ボタン※2

アラームを検出すると [アラーム発生通知ボタン] が表示されます。

[明るさ] ボタン※2

画像の明るさを調節します。

[ズーム] ボタン※2

画像を拡大／縮小します。

[AUX] ボタン※2

AUX出力端子の状態をHigh/Lowで切り替えます。

[ワンショット] ボタン

ワンショット（静止画1枚）が別ウインドウで表示されます。

メインエリア

カメラの画像が表示されます。表示されている画像内をクリックすると、クリックした方向に本機の向きが移動します。

※1 アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。

※2 アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

ライブページ表示中にできる操作

ライブページ表示中に、以下の操作を行うことができます。

操作	説明
カメラ情報ページを表示する	 : カメラ情報ページを表示します。(→33ページ)
設定メニューを表示する*1	 : 設定メニューが表示されます。(52ページ)
プリセット位置へ本機カメラの向きを移動する*2	: 「プリセット移動」のプリセット名をクリックすると、本機カメラの向きが登録したプリセット位置へ移動します。
プリセットスキャンを実行する*2	 : プリセットスキャンの対象となっているプリセット位置へ本機カメラの向きを移動します。(→61ページ)
ワントタイムパンを実行する*2	 : 本機カメラの向きを左右に1往復ずつ動作させ、モニタリングすることができます。
本機カメラの向きを変更する*2	 : 各「▲」をクリックすると、クリックした方向へ本機カメラの向きが移動します。また、表示されている画像内をクリックしても、カメラの向きを移動することができます。
アラーム発生を確認する*2	 : アラームが発生すると表示されます。ボタンをクリックすると表示が消え、アラーム出力端子がリセットされます。
明るさを変更する*2	 : 画像が暗くなります。  : 工場出荷時（「0」）の明るさで表示されます。  : 画像が明るくなります。
倍率を変更する*2	 : 画像が縮小されます。  : 画像を等倍で表示します。  : 画像が拡大されます。
AUX出力端子の状態を設定する*2	 : AUX出力端子をHigh状態にします。  : AUX出力端子をLow状態にします。
表示されている画像をPCへ取り込む	 : ボタンをクリックすると、新規ウィンドウが開きライブページのワンショット（静止画1枚）が表示されます。画像上で右クリックし、「名前を付けて画像を保存」を選択すると、PCに画像を保存することができます。

*1 アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。

*2 アクセスレベル（→69ページ）が「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

補足

ライブページ表示中にTV電話を開始するとTV電話中のメッセージが、設定メニューにログインすると設定中のメッセージが表示されます。TV電話を切断または設定メニューからログアウトしてもライブページには画像は自動的に表示されません。ライブページで画像を確認する場合は、カメラ情報ページで本機の通信状態を確認してから、[ライブページ] ボタンをクリックしてください。

アラームについて

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームを検出すると、設定に従ってアラーム動作を行います。

アラームの種類について

- ・端子アラーム : 本機のアラーム端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- ・VMDアラーム : 設定したエリアの映像に変化（動き）が生じたときに、アラーム動作を行います。
※VMD (Video Motion detector) = 動き検出、モーションディテクター機能

アラーム発生時の動作について

●TV電話をかけてアラーム発生を通知する（[発信設定]）

アラームを検出すると、あらかじめ登録してある第1優先の電話番号に自動的にTV電話をかけてお知らせします。第1優先の電話番号に接続できなかった場合は、第2優先の電話番号に発信します。発信先の電話番号は第1優先、第2優先の2件が登録できます。設定は、電話機能設定ページの [発信設定] タブ (→79ページ) または本機後面の電話番号登録スイッチ (→38ページ) で行います。

●その場所の画像を自動的に本機に保存する

アラームを検出すると、FOMA端末を呼び出してからTV電話通信（映像・音声通信）ができるまで、数秒間時間がかかります。その間、1アラームあたり約1秒間隔で最大10枚まで静止画像が保存されます。画像が保存されているときにアラームが発生した場合、上書きされます。本機に保存された画像を確認する方法は、23ページをお読みください。

●ライブページに [アラーム発生通知] ボタンを表示する

アラームを検出すると、カメラ情報ページとライブページに [アラーム発生通知] ボタンが表示されます。

補足

[アラーム発生通知] ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅延が発生する場合があります。

●あらかじめ指定したプリセット位置に本機カメラの向きを移動する

アラームを検出すると、あらかじめ指定したプリセット位置に本機カメラの向きを移動させます。設定は、カメラ設定ページの [プリセット設定] タブで行います。(→61ページ)

●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する

アラームを検出すると、後面のアラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。設定は、アラーム設定ページの [アラーム設定] タブで行います。(→64ページ)

●画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームを検出すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像を送信します。設定は、アラーム設定ページの [アラーム設定] タブ (→64ページ)、ネットワーク設定ページの [FTP設定] タブ (→74ページ) で行います。

●Eメールでアラーム発生を通知する

アラームを検出すると、あらかじめ登録してあるメールアドレスにアラームの検出を知らせるメール（アラームメール）を送信します。送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に、画像を1枚添付して送信することもできます。設定は、アラーム設定ページの [通知設定] タブで行います。(→67ページ)

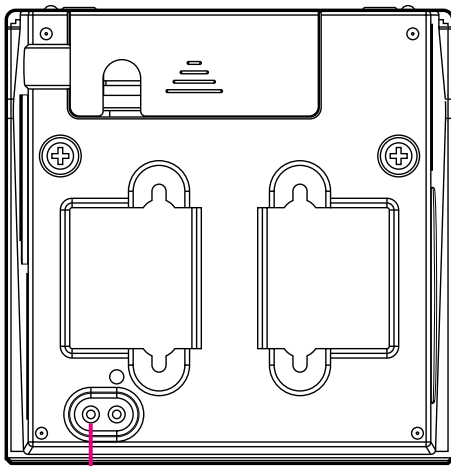
本機のスイッチから設定する

本機のスイッチを使って、通信中の電話番号をそのまま登録したり、本機の初期化を行うことができます。

電話番号を登録する

6

設定手順



電話番号登録スイッチ

補足

電話番号登録スイッチで最大30件まで電話番号を登録できます。

電話番号を1件登録するごとに、着信制限が「ON」に設定されます。続けて電話番号を登録するときは、本機の着信制限を「OFF」に設定してから登録してください。設定のしかたは、77ページをお読みください。

重要！

- 電話番号登録スイッチから登録すると、着信制限も同時に「ON」に設定されるので、登録されたFOMA端末の電話番号以外からの着信が拒否されます。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号であっても、電話番号が非通知の場合は着信が拒否されます。

STEP1

FOMA端末の発信者番号通知を「通知する」に設定します。設定のしかたは、FOMA端末の取扱説明書をお読みください。

STEP2

FOMA端末から本機に装着されたカード型FOMAの電話番号にTV電話発信します。

STEP3

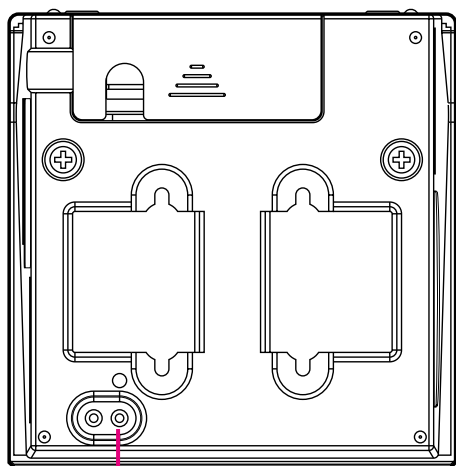
通信中に電話番号登録スイッチを長押し（約3秒）します。

→以下の内容で本機に電話番号が登録されます。

名前 : 空欄
アクセスレベル : 1.管理者
アラーム自動発信先
: 第1優先 (第1優先に電話番号が登録されていない場合)
第2優先 (第1優先に電話番号が登録されていて、第2優先に電話番号が登録されていない場合)
登録しない (第1優先、第2優先両方に電話番号が登録されている場合)
着信制限 : ON

必要に応じて、[着信設定] タブ、[発信設定] タブで登録内容を変更してください。設定のしかたは、77、79ページをお読みください。

初期化する



初期化スイッチ

STEP1

初期化スイッチを押しながらACアダプターをコンセントに差し込み、そのままスイッチを5秒以上押し続けます。

STEP2

初期化スイッチを離し、通電したまま放置します。
→本機のパン／チルト動作が完全に終了した段階で、設定メニューの設定内容、HTMLデータ、ネットワーク設定の初期化が完了します。初期化には約1分かかります。

FOMA端末から設定する

プリセット位置の登録やアラームの設定など、FOMA端末から本機を設定する操作方法について説明します。操作はDTMF信号を使って行います。

重要！

- アクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。
- FOMA端末または本機の周辺が騒がしい場合や電波の弱い場所では、DTMF信号で本機の制御ができないことがあります。
- FOMA端末側でハンズフリーを設定すると、DTMF操作ができなくなる場合があります。

補足

以下の操作は、DTMF送信の手順です。詳しくはFOMA端末の取扱説明書をお読みください。ここでは、P900iを例に説明しています。

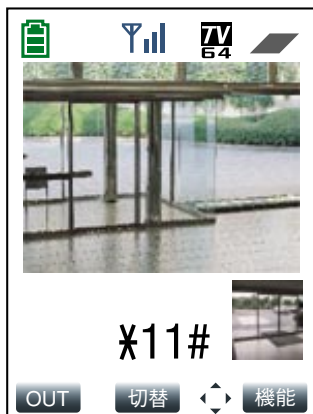
6

プリセット位置を登録する

表示されている画像の位置（本機の向き（水平・垂直位置）、ズーム倍率）をプリセット位置として登録します。プリセット位置は8か所まで登録できます。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

本機の向きやズーム倍率を調節します。（→17ページ）

STEP2

数字ボタンを押して、プリセット位置を登録します。

プリセット1： [*] → [1] → [1] → [#]

プリセット2： [*] → [1] → [2] → [#]

プリセット3： [*] → [1] → [3] → [#]

プリセット4： [*] → [1] → [4] → [#]

プリセット5： [*] → [1] → [5] → [#]

プリセット6： [*] → [1] → [6] → [#]

プリセット7： [*] → [1] → [7] → [#]

プリセット8： [*] → [1] → [8] → [#]

補足

FOMA端末からプリセット位置を登録すると、プリセットスキャンの対象になります。

音声モードのON/OFFを設定する

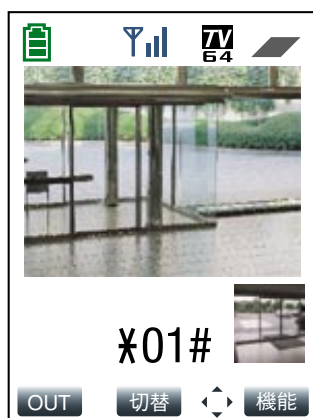
FOMA端末で音声を確認するかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定すると、FOMA端末でカメラの映像と共に音声を確認することができます。また、本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー（別売り）を接続している場合は、FOMA端末からの音声を本機側のスピーカーから聞くことができます。

「OFF」に設定すると、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、音声モードのON/OFFを切り替えます。

ON : [*] → [0] → [1] → [#]

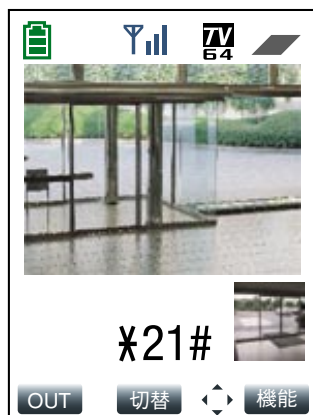
OFF : [*] → [0] → [0] → [#]

端子アラームのON/OFFを設定する

アラームを検出したとき、本機がアラーム信号の入力を受け付けるかどうかをON/OFFで設定します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、端子アラームのON/OFFを切り替えます。

ON : [*] → [2] → [1] → [#]

OFF : [*] → [2] → [0] → [#]

VMDアラームのON/OFFを設定する

モーションディテクター（VMD）機能を使用するかどうかをON/OFFで設定します。

モーションディテクター機能とは、設定したエリアの映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押してVMDアラームのON/OFFを切り替えます。

ON : [*] → [3] → [1] → [#]

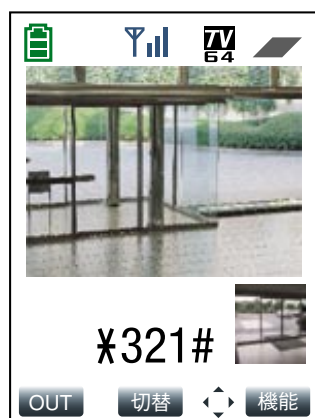
OFF : [*] → [3] → [0] → [#]

VMDエリアを設定する

モーションディテクターを検出するエリアを設定します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。(→16ページ)



STEP1

数字ボタンを押して、VMDエリアを登録します。

- 左上 : [*] → [3] → [2] → [1] → [#]
- 上半分 : [*] → [3] → [2] → [2] → [#]
- 右上 : [*] → [3] → [2] → [3] → [#]
- 左半分 : [*] → [3] → [2] → [4] → [#]
- 全体 : [*] → [3] → [2] → [5] → [#]
- 右半分 : [*] → [3] → [2] → [6] → [#]
- 左下 : [*] → [3] → [2] → [7] → [#]
- 下半分 : [*] → [3] → [2] → [8] → [#]
- 右下 : [*] → [3] → [2] → [9] → [#]

補足

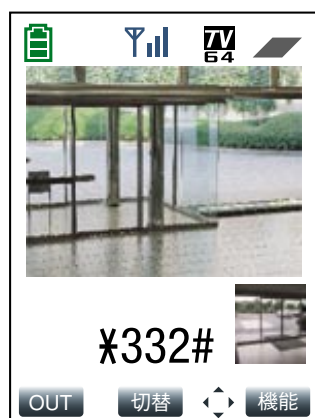
各エリアのイメージは、アラーム設定ページの [VMDエリア設定] タブ (→66ページ) をご覧ください。

VMD検出感度を設定する

モーションディテクターの感度を設定します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。(→16ページ)



STEP1

数字ボタンを押して、VMD検出感度を設定します。

- 高 : [*] → [3] → [3] → [2] → [#]
- 中 : [*] → [3] → [3] → [5] → [#]
- 低 : [*] → [3] → [3] → [8] → [#]

着信制限のON/OFFを設定する

本機への着信を制限するかどうかをON/OFFで設定します。

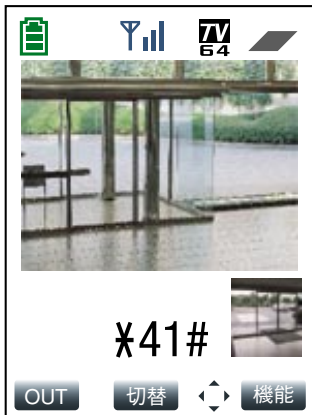
「ON」に設定すると、電話帳に登録しているFOMA端末の電話番号からのみ着信を許可します。それ以外の電話番号からの着信は拒否します。「ON」に設定していると、電話帳に登録されている電話番号であっても、電話番号が非通知の場合は着信が拒否されます。

「OFF」に設定すると、本機にアクセスしてきたすべてのFOMA端末の着信を許可します。電話帳に登録されていないFOMA端末のアクセスレベルは、「2.カメラ制御」になります。

6

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。（→16ページ）



STEP1

数字ボタンを押して、着信制限のON/OFFを切り替えます。

ON : [*] → [4] → [1] → [#]

OFF : [*] → [4] → [0] → [#]

自動再発信のON/OFFを設定する

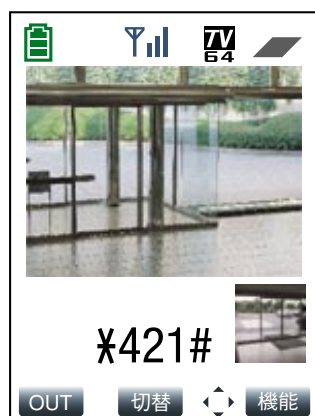
アラームが発生したとき、本機への接続に失敗した場合、本機から第1優先の発信先に自動的に再発信するかどうかをON/OFFで設定します。

第2優先の発信先が登録されていると、第1優先の発信先に接続できなかった場合、第2優先の接続先に接続します。再発信は、以下のような場合に60秒間隔（接続失敗～再発信までの時間）で2回まで行われます。

- 発信先が話し中の場合
- 発信先が圏外の場合
- 指定時間内に応答がない場合

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。(→16ページ)



STEP1

数字ボタンを押して、自動再発信のON/OFFを切り替えます。

ON : [*] → [4] → [2] → [1] → [#]

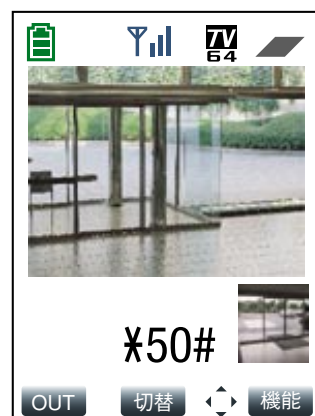
OFF : [*] → [4] → [2] → [0] → [#]

本機の設置状態を設定する

本機の設置状態に合わせて、卓上/壁掛けのどちらかに設定します。

画面1

本機の映像を表示している状態で操作します。(→16ページ)



STEP1

数字ボタンを押して、卓上/壁掛けのどちらかに設定します。

卓上 : [*] → [5] → [0] → [#]

壁掛け : [*] → [5] → [1] → [#]

補足

本機の映像を上下反転させたいときは、[*] → [5] → [#] を押します。

iモード端末から設定する

iモード端末から操作できる本機の設定について説明します。
設定はiモード端末から設定画面を表示して行います。

重要！

- 設定画面は「アクセスレベル」が「1.管理者」に設定されているユーザーのみ表示できます。アクセスレベルについては69ページをお読みください。
- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
ユーザー名：admin
パスワード：0000
ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

補足

設定画面の「運用画面」にカーソルを移動して、決定ボタンを押すと、運用画面（本機の画像が表示されている画面）へ戻ります。

6

端子アラームのON/OFFを設定する

アラームが発生したとき、本機がアラーム信号の入力を受け付けるかどうかをON/OFFで設定します。

設定する

画面1

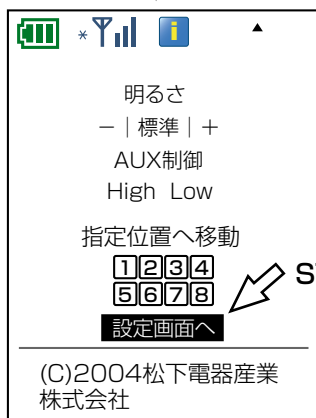
本機の画像を表示している状態で操作します。（→24ページ）



STEP1

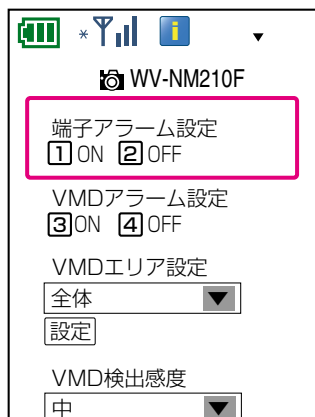
〔設定画面へ〕にカーソルを移動し、決定ボタンを押します。

（次ページへ続く）



画面2

設定画面が表示されます。

**STEP2**

「ON」に設定する場合は [1] ボタンを押すか、[[1]ON] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。「OFF」に設定する場合は、[2] ボタンを押すか、[[2]OFF] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

VMDアラームのON/OFFを設定する

モーションディテクター（VMD）機能を使用するかどうかをON/OFFで設定します。

モーションディテクター機能とは、設定したエリアの画像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。

**STEP1**

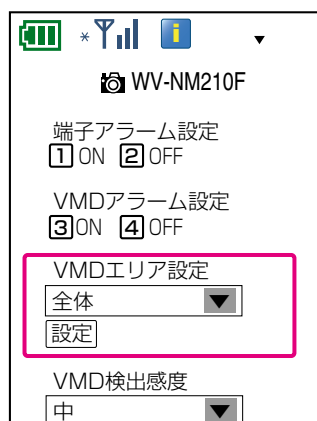
「ON」に設定する場合は [3] ボタンを押すか、[[3]ON] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。「OFF」に設定する場合は、[4] ボタンを押すか、[[4]OFF] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

VMDエリアを設定する

モーションディテクターを検出するエリアを設定します。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP 1、2

STEP 1

「VMDエリア設定」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

リスト選択画面で、設定したいエリアにカーソルを移動して決定ボタンを押します。

エリアは以下から選択できます。

左上／上半分／右上／左半分／全体／右半分／左下／下半分／右下

補足

各エリアのイメージは、アラーム設定ページの「VMDエリア設定」タブ（→66ページ）をご覧ください。

STEP 2

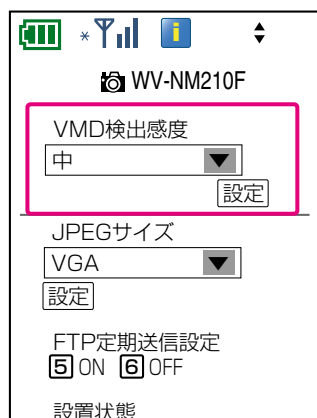
「設定」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

VMD検出感度を設定する

モーションディテクターの感度を設定します。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP 1、2

STEP 1

「VMD検出感度」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

リスト選択画面で、設定したい検出感度にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

検出感度は以下から選択できます。

高／中／低

STEP 2

「設定」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

画像サイズを設定する

画像のサイズを設定します。

重要！

設定した画像サイズは、以下の操作を行ったときに適用されます。

- ライブページを表示したとき
- [ワンショット] ボタンをクリックして画像をPCに保存するとき

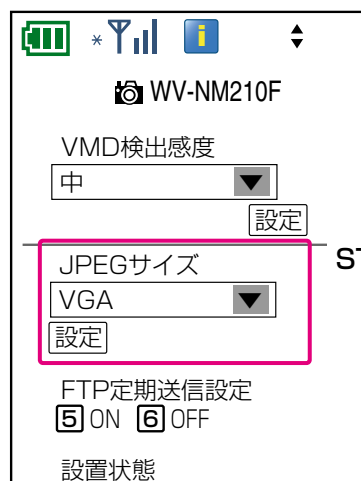
- iモード端末で画像を表示したとき

この他、以下の画像にも適用されます。

- アラームメールの添付画像
- FTPアラーム送信で送信される画像
- FTP定期送信で送信される画像

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP1

「JPEGサイズ」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

リスト選択画面で、設定したいサイズにカーソルを移動して決定ボタンを押します。

JPEGサイズは以下から選択できます。

VGA : 640ピクセル×480ピクセル

QVGA : 320ピクセル×240ピクセル

QQVGA : 160ピクセル×120ピクセル

STEP2

「設定」にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

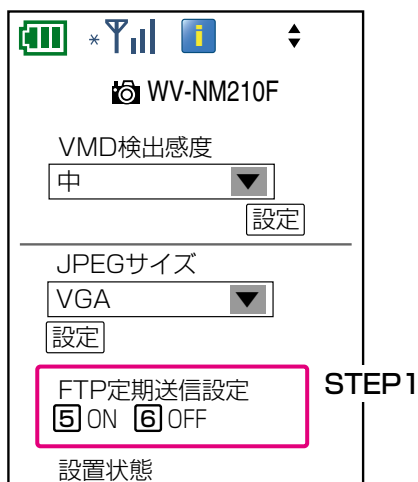
FTP定期送信のON/OFFを設定する

指定した時間間隔で定期的に画像を送信するかどうかをON/OFFで設定します。

保存先のディレクトリや送信間隔などの設定は、PCからウェブブラウザを起動し、アラーム設定ページの [FTP設定] タブで行います。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP1

「ON」に設定する場合は [5] ボタンを押すか、[[5]ON] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。
「OFF」に設定する場合は、[6] ボタンを押すか、[[6]OFF] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

本機の設置状態を設定する

本機の設置状態に合わせて、卓上/壁掛けのどちらかに設定します。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP1

「卓上」に設定する場合は [7] ボタンを押すか、[[7]卓上] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。
「壁掛け」に設定する場合は [8] ボタンを押すか、[[8]壁掛け] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

本機を再起動する

本機を再起動します。本機の動作がおかしい場合などに行います。

画面1

設定画面を表示します。表示のしかたは46ページをお読みください。



STEP1

[実行] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。
→本機が再起動します。

補足

再起動には約1分間かかります。

PCから設定メニューを表示して設定する

PCのウェブブラウザを使って設定メニューを表示し、システムの設定や本機の設定、アラーム検出時の設定などを行います。

重要！

設定画面はアクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ表示できます。アクセスレベルについて詳しくは、69ページをお読みください。

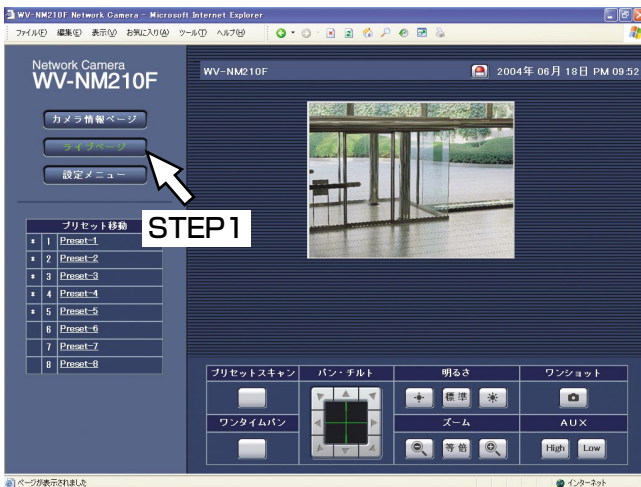
設定メニューを表示する

6

設定メニューを表示します。

画面1

トップページを表示します。(→32ページ)

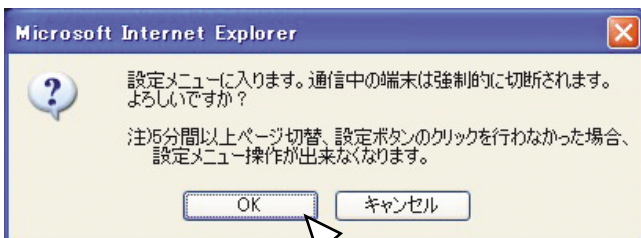


STEP1

[設定メニュー] ボタンをクリックします。

画面2

設定メニューにログインするための確認画面が表示されます。



STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

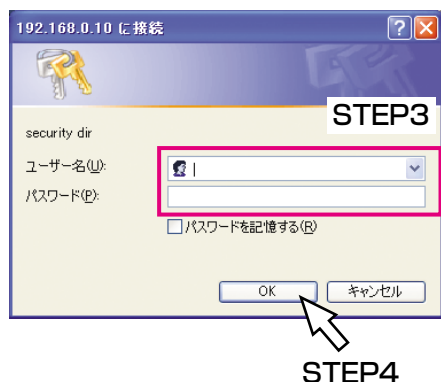
重要！

設定メニューにログインすると、本機とFOMA端末・iモード端末との通信、FTP送信は強制的に切断されます。

また、ライブページの表示ができなくなり、アラームも検出されません。

画面3

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

**STEP3**

アクセスレベルが「1.管理者」のユーザー名とパスワードを入力します。

工場出荷時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。

ユーザー名：admin

パスワード：0000

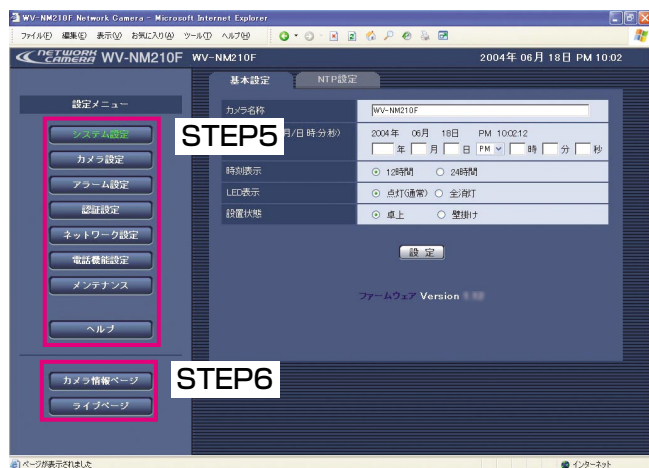
ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

STEP4

[OK] ボタンをクリックします。

画面4

設定メニューのトップページ（システム設定ページの [基本設定] タブ）が表示されます。

**STEP5**

画面左にある設定メニューのボタンをクリックして、各設定メニューのページを表示します。各ボタンについての説明は54ページをお読みください。

STEP6

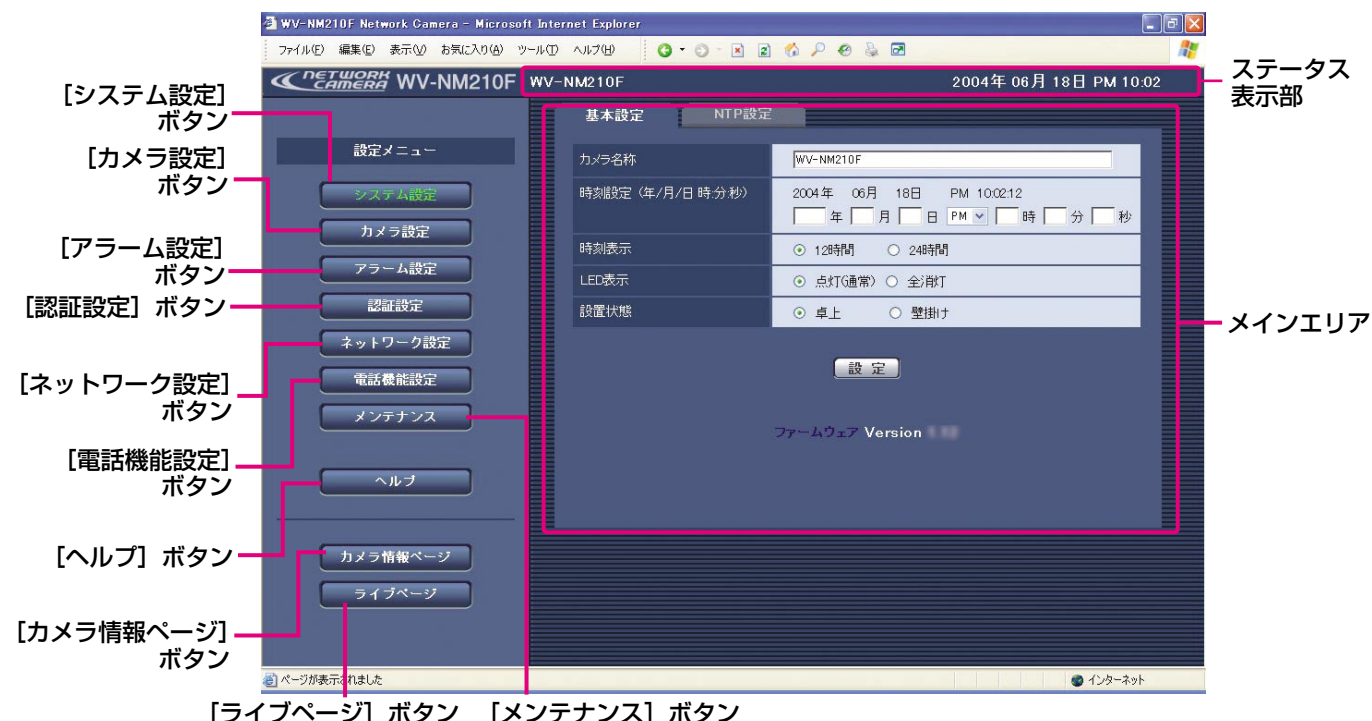
ログアウトするときは、[カメラ情報ページ] ボタンまたは [ライブページ] ボタンをクリックして設定メニューからログアウトしてください。

重要！

- 設定メニューからログアウトするときは、[カメラ情報ページ] ボタンまたは [ライブページ] ボタンをクリックしてログアウトしてください。ブラウザの [×] ボタンや [戻る] ボタンを押して設定メニューを終了した場合、5分間、FOMA端末、iモード端末、PCから本機に接続できなくなります。
- 5分間、何も設定操作を行わない場合、設定メニューから自動的にログアウトします。
- 設定メニューにログインしているときは、本機とFOMA端末・iモード端末との通信、ライブページの表示、FTP送信ができません。これらの操作を行うときは、ログアウトしてください。

設定メニューの操作画面について

設定メニューの操作画面について説明します。



[システム設定] ボタン

システム設定ページを表示します。システム設定ページでは、日時やカメラ名称などの基本設定や、NTPサーバーに関する設定を行います。詳しくは、55ページをお読みください。

[カメラ設定] ボタン

カメラ設定ページを表示します。カメラ設定ページでは、画質や明るさなど画像に関する設定、プリセット登録、音声に関する設定を行います。詳しくは、58ページをお読みください。

[アラーム設定] ボタン

アラーム設定ページを表示します。アラーム設定ページでは、アラーム検出時の動作やVMDエリア、アラームメールに関する設定を行います。詳しくは、64ページをお読みください。

[認証設定] ボタン

認証設定ページを表示します。認証設定ページでは、本機を使用できるユーザーを制限する認証登録を行います。詳しくは、69ページをお読みください。

[ネットワーク設定] ボタン

ネットワーク設定ページを表示します。ネットワーク設定ページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS (Dynamic Domain Name Service) 機能に関する設定、FTPサーバーに関する設定を行います。詳しくは、71ページをお読みください。

[電話機能設定] ボタン

電話機能設定ページを表示します。電話機能設定ページでは、本機にアクセスできるFOMA端末の登録など、FOMA端末から本機を操作するために必要な設定を行います。また、本機のアラーム履歴、着信履歴を確認することもできます。詳しくは、77ページをお読みください。

[メンテナンス] ボタン

メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、現在の本機の状態やエラーログの確認、ファームウェアのアップロードや本機の設定内容の初期化を行うことができます。詳しくは、84ページをお読みください。

[ヘルプ] ボタン

ヘルプ画面を表示します。

[カメラ情報ページ] ボタン・ [ライブページ] ボタン
設定メニューからログアウトし、カメラ情報ページ／ライブページを表示します。

ステータス表示部

現在設定しているカメラ名称と日時を表示します。

メインエリア

各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。

システムに関する設定を行う [システム設定]

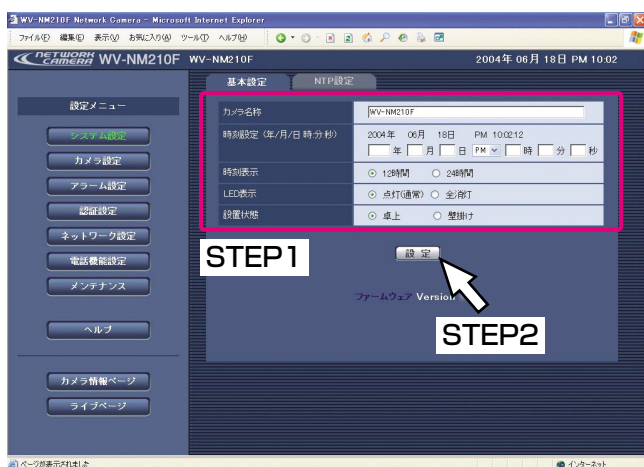
日時やカメラ名称などの基本設定や、NTPサーバーに関する設定を行います。システム設定ページは、[基本設定] タブと [NTP設定] タブで構成されています。

基本設定を行う [基本設定]

基本設定では、本機の名称や日時の設定などを行います。

画面1

システム設定ページの [基本設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

基本設定の各項目を設定します。

[カメラ名称]

本機の名称を入力します。カメラ名称は各設定ページ画面の上部中央に表示されます。入力したカメラ名称は、[設定] ボタンを押したときに反映されます。工場出荷時は「WV-NM210F」に設定されています。入力可能文字数：半角1～32文字（全角1～16文字）

[時刻設定]

現在の日付、時刻を入力します。工場出荷時は「2004/01/01 AM 00:00:00」に設定されています。

設定可能範囲：2004/01/01 00:00:00～
2035/12/31 23:59:59

年：西暦を4けたで入力
月、日：2けたで入力
AM/PM：AM/PMを選択
時、分、秒：2けたで入力

重要！

「時、分、秒」は [時刻表示] の設定に合わせて入力してください。

[時刻表示]

時刻表示を12時間（工場出荷時）/24時間のどちらかに設定します。[時刻設定] はこの設定に合わせて入力してください。

（次ページへ続く）

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

[LED表示]

LEDの表示を点灯（通常）／全消灯のどちらかに設定します。動作状態をLEDで表示したいときは「点灯（通常）」にチェックを入れます。常に消灯したいときは「全消灯」にチェックを入れます。工場出荷時は「点灯（通常）」に設定されています。

<LED表示について>

本機の電源がONの時、各LEDは以下のように点灯／点滅します。

●パワーLED

緑点灯：非アクセス時

緑点滅：アクセス中、バージョンアップ中、設定メニューログイン中

●状態表示LED

オレンジ点灯：マイクモード（FOMA端末←本機）
双方向モード（FOMA端末↔本機）

オレンジ点滅：スピーカーモード
（FOMA端末→本機）

消灯：音声なし

赤点灯：エラー時、カード型FOMAが取り付けられていないとき

赤点滅：バージョンアップ中

[設置状態]

本機の設置状態を卓上（工場出荷時）／壁掛けのどちらかに設定します。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

NTPサーバーに関する設定を行う [NTP設定]

NTPサーバーに関する設定を行います。

画面1

システム設定ページの [NTP設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

NTP設定の各項目を設定します。

[時刻調整]

時刻を設定するとき基準とする対象を設定します。
マニュアルセッティング（工場出荷時）

：手動で時刻を調節します。時刻の設定は基本設定
ページの [基本設定] タブにある [時刻設定] で行
います。（→55ページ）

NTPサーバーに同期：NTPサーバーを基準に時刻を調
節します。

[NTPサーバーアドレス]

[時刻調整] で「NTPサーバーに同期」を設定した場合、
NTPサーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：半角英数字1～128文字

[ポート番号]

NTPサーバーのポート番号を入力します。工場出荷時
は「123」に設定されています。
入力可能文字数：半角数字1～65535

[取得間隔]

NTPサーバーへの取得間隔を1～24時間で1時間単位
に設定します。工場出荷時は「1」に設定されています。

[タイムゾーン]

NTPサーバーを使って時刻設定を行う場合、ご使用の
地域に応じたタイムゾーンを設定してください。国内
で使用する場合は、「(GMT+9:00) 大阪、札幌、東京」
(工場出荷時設定) を選択してください。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

補足

NTPサーバーのホスト名を入力した場合は、[ネット
ワーク設定] タブでDNSの設定を行う必要がありま
す。（→71ページ）

本機の画質や動作に関する設定を行う [カメラ設定]

画像に関する設定やプリセット登録、音声に関する設定を行います。

カメラ設定ページは [画像設定] タブ、[プリセット設定] タブ、[音声設定] タブで構成されています。

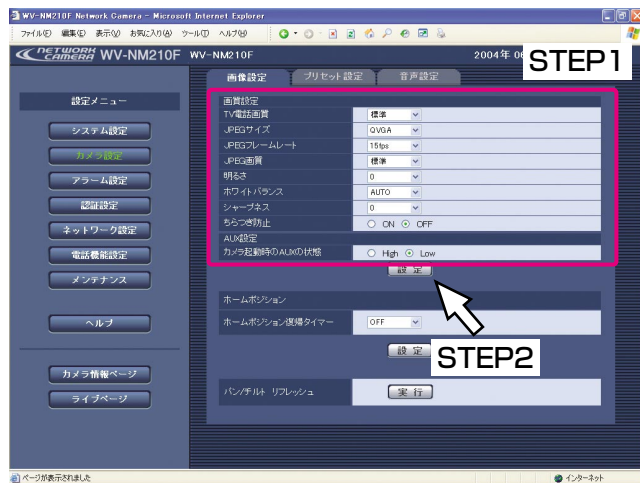
画質に関する設定を行う [画像設定]

画質や明るさなど、画像に関する設定を行います。

6

画面1

カメラ設定ページの [画像設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

画質設定の各項目を設定します。

[TV電話画質]

映像の画質を以下から選択します。

画質優先 / 標準 (工場出荷時) / 動き優先

重要！

FOMA端末によっては、FOMA端末側で設定した画質で通信を開始する場合があります。

[JPEGサイズ]

JPEG画像のサイズを以下から選択します。

VGA	: 640ピクセル×480ピクセル
QVGA (工場出荷時)	: 320ピクセル×240ピクセル
QQVGA	: 160ピクセル×120ピクセル

[JPEGフレームレート]

JPEG画像のフレームレートを以下から選択します。

1 fps / 3 fps / 5 fps / 10 fps / 15 fps (工場出荷時) / 30 fps

重要！

JPEGフレームレートはネットワーク環境、PCの性能、被写体、本機へのアクセス数により遅くなることがあります。

[JPEG画質]

JPEG画像の画質を以下から選択します。

画質優先 / 標準 (工場出荷時) / サイズ優先

重要！

設定したJPEGサイズは、以下の操作を行ったときに適用されます。

- ・ライブページを表示したとき
 - ・ [ワンショット] ボタンをクリックして画像をPCに保存するとき
 - ・ iモード端末で画像を表示したとき
- この他、以下の画像にも適用されます。
- ・ アラームメールの添付画像
 - ・ FTPアラーム送信で送信される画像
 - ・ FTP定期送信で送信される画像

(次ページへ続く)

[明るさ]

設定したい明るさを「-8」～「8」の17段階で調節します。数字が小さいほど、暗く、数字が大きいほど明るくなります。工場出荷時は「0」に設定されています。

[ホワイトバランス]

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。

AUTO（工場出荷時）：自動で調節します。

HOLD：ホワイトバランスは固定されます。

[シャープネス]

画像のシャープネス（鮮明さ）を「-4」～「4」の9段階で調節します。数字が小さいほど画像はソフトに、数字が大きいほどシャープになります。工場出荷時は「0」に設定されています。

[ちらつき防止]

蛍光灯によるちらつきを防止する機能を使用するかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。電源周波数50 Hz地域において、明るい蛍光灯照明下で使用し、ちらつきが気になる場合は「ON」に設定してください。

重要！

「ちらつき防止」が「ON」の状態ですら明るい光にカメラを向けると、映像が白っぽくなります。また、明るい光を映した状態で「ちらつき防止」を「OFF」に変更すると、一時的に映像が暗くなります。これらの現象は、カメラの仕様によるものです。故障ではありません。

[カメラ起動時のAUXの状態]

カメラ起動時のAUX出力端子の状態をHigh/Low（工場出荷時）で設定します。

補足

「Low」に設定すると、本機の電源を入れたときなどに、約15秒間、AUX出力端子の状態が「High」になります。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

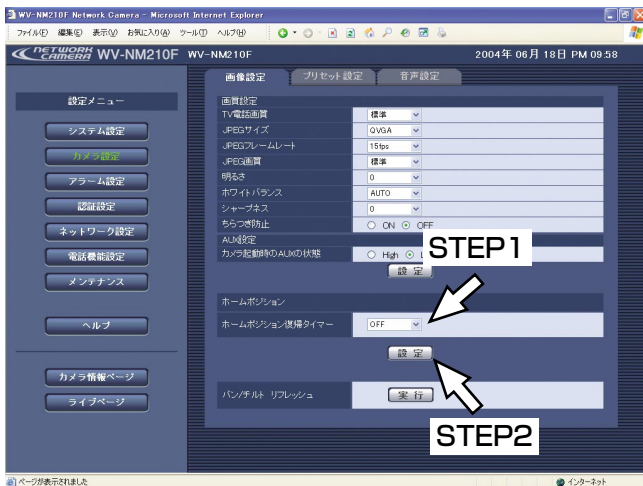
PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

ホームポジションへ戻るまでの時間を設定する [画像設定]

本機カメラの向きが移動した後、元の位置（ホームポジション：プリセット1）へ戻るまでの時間を設定します。

画面1

カメラ設定ページの [画像設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

[▼] ボタンをクリックして、ホームポジション（プリセット1）へ戻るまでの時間を以下から選択します。何も操作しない状態で設定した時間が経つと、ホームポジションへ戻ります。OFFに設定するとホームポジションへは戻りません。

OFF（工場出荷時） / 1分 / 5分 / 10分

STEP2

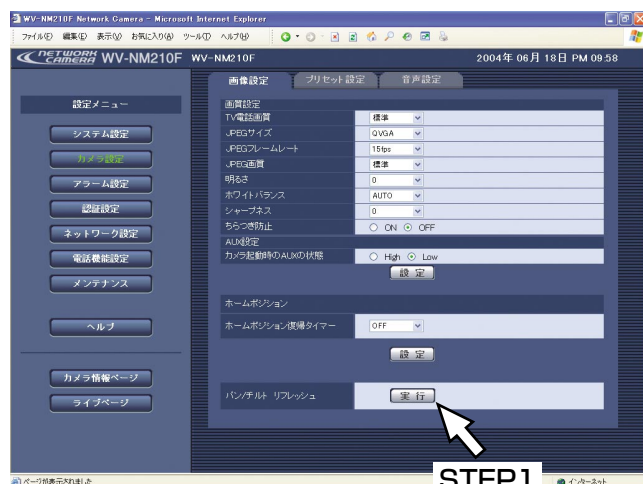
設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

パン／チルトのリフレッシュを実行する [画像設定]

本機を長期間使用していると、レンズの向き（水平位置・垂直位置）がずれることがあります。このずれを修正します。

画面1

カメラ設定ページの [画像設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

[パン/チルト リフレッシュ] の [実行] ボタンをクリックします。

→リフレッシュが開始します。

パン／チルトのリフレッシュを実行すると本機カメラの向きが中心に戻ります。

プリセット位置を登録する [プリセット設定]

本機の向き（水平・垂直位置）やズーム倍率を設定し、撮影場所をプリセット位置として登録します。

プリセット位置にはそれぞれプリセット番号とプリセット名を登録します。

プリセット位置は8か所まで登録できます。

また、複数のプリセット位置をプリセットスキャンの対象にしておくと、1回の操作で対象のプリセット位置へ本機の向きを順番に移動させることができます。

画面1

カメラ設定ページの [プリセット設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

撮影場所のプリセット番号とプリセット名を設定します。

プリセット名入力可能文字数：半角1～32文字
(全角1～16文字)

STEP2

各 [▲] ボタンをクリックして、映像の水平位置・垂直位置を調節します。

補足

表示されている画像内をクリックして、本機の向きをクリックした方向へ移動することもできます。

STEP3

[ズーム] ボタンをクリックして、画像の倍率を調節します。

STEP4

プリセットスキャンの対象にする／しない（工場出荷時）を設定します。

STEP5

設定したら、[登録] ボタンをクリックします。プリセットの登録内容を確認したい場合は、[プリセット登録確認] の [▼] ボタンをクリックします。クリックすると、プリセット登録されているプリセット番号と名称が一覧で表示され、登録したプリセット位置へ本機が移動します。また、プリセットスキャンの対象になっている場合、プリセット番号に「*」が付きます。

補足

- プリセット登録したい数だけSTEP1～STEP4の操作を繰り返します。
- 工場出荷時の設定内容については、62ページをお読みください。

(次ページへ続く)

<プリセット登録の工場出荷時設定>

プリセット番号	プリセット登録位置	ズーム倍率	プリセットスキャンの対象
プリセット1	上	1倍	する
プリセット2	右	1倍	する
プリセット3	下	1倍	する
プリセット4	左	1倍	する
プリセット5	中央	1倍	する
プリセット6~8	中央	1倍	しない

6

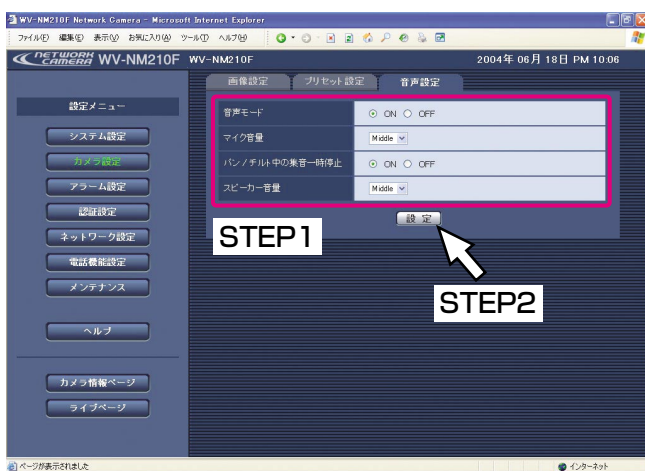
音声に関する設定を行う [音声設定]

音声モードや本機のマイク音量など、音声に関する設定を行います。

設定する

画面1

カメラ設定ページの [音声設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

音声設定の各項目を設定します。

[音声モード]

FOMA端末で音声を確認するかどうかをON/OFFで設定します。

ON (工場出荷時) : FOMA端末でカメラ映像と共に音声を確認することができます。また、本機にステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカー (別売り) を接続している場合は、FOMA端末からの音声を本機側のスピーカーから聞くことができます。

OFF : 音声に関する設定や制御がすべて無効となります。

[マイク音量]

本機のマイク感度のレベルを以下の3段階から選択します。

High/Middle (工場出荷時) /Low

(次ページへ続く)

[パン/チルト中の集音一時停止]

パン/チルト中の動作音が気になる場合は、「ON」に設定します。工場出荷時は「ON」に設定されています。

[スピーカー音量]

本機のスピーカー音量のレベルを以下の3段階から選択します。

High/Middle (工場出荷時) /Low

STEP2

設定したら、「設定」ボタンをクリックします。

アラームに関する設定を行う【アラーム設定】

アラームを検出したときの動作やVMDエリアの設定、アラームメールに関する設定を行います。アラーム設定ページは【アラーム設定】タブ、【VMDエリア設定】タブ、【通知設定】タブで構成されています。

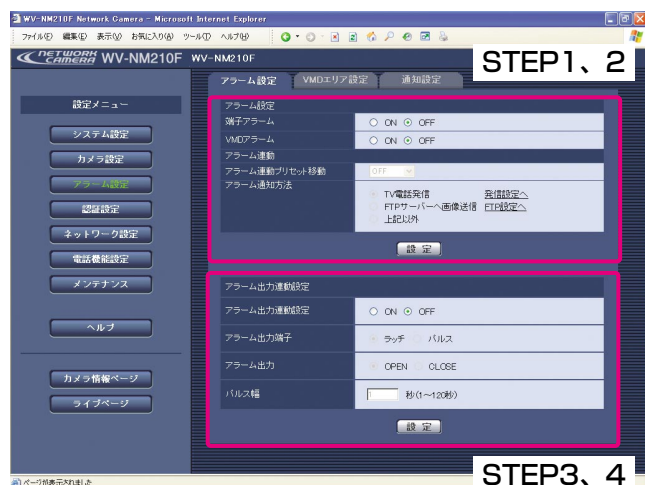
アラーム動作に関する設定を行う【アラーム設定】

アラームを検出したときの本機の動作を設定します。

6

画面1

アラーム設定ページの【アラーム設定】タブを表示します。表示のしかたについては、52ページをお読みください。



補足

「VMDアラーム」を「ON」に設定すると、JPEGフレームレートが遅くなることがあります。

STEP1

アラーム設定の各項目を設定します。

【端子アラーム】

アラームを検出したときに、本機がアラーム信号の入力を受け付けるかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

【VMDアラーム】

モーションディテクター（VMD）機能を使用するかどうかをON/OFFで設定します。モーションディテクター機能とは、設定エリアの映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

【アラーム連動プリセット移動】

端子アラームを検出したときに、あらかじめ登録してあるプリセット位置へ本機カメラの向きを移動するよう設定します。移動させるプリセット番号（1～8）を設定すると、端子アラームを検出したときに、設定したプリセット番号の位置に本機カメラの向きが移動します。

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

（次ページへ続く）

[アラーム通知方法]

アラームを検出したときの通知方法を以下から選択します。

TV電話発信

：アラームを検出したときに自動的にTV電話発信を行います。あらかじめ、発信先の登録が必要です。(→79ページ)

FTPサーバーへ画像送信

：アラームを検出したときにFTPサーバーへ画像を送信します。あらかじめFTPサーバーの設定が必要です。(→74ページ)

上記以外

：アラームを検出したときにTV電話発信もFTPサーバーへの画像送信も行いません。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

STEP3

アラーム出力連動設定の各項目を設定します。

[アラーム出力連動設定]

アラームを検出したときに、アラーム出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをON/OFFで設定します。工場出荷時は「OFF」に設定されています。

[アラーム出力端子]

アラームを検出した時のアラーム出力端子の動作を、ラッチ/パルスのどちらかに設定します。

- ・ラッチ (工場出荷時)
 - ：アラームを検出したとき、[アラーム発生通知] ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。
- ・パルス
 - ：アラームを検出したとき、「パルス幅」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。

[アラーム出力]

アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOPEN/CLOSEで設定します。

- ・OPEN
 - ：アラーム出力時の端子をOPEN状態にします。(通常はCLOSE)
- ・CLOSE
 - ：アラーム出力時の端子をCLOSE状態にします。(通常はOPEN)

(次ページへ続く)

補足

「OPEN」に設定すると、本機の電源を入れたときなどに、約30秒間アラームが出力されます。

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

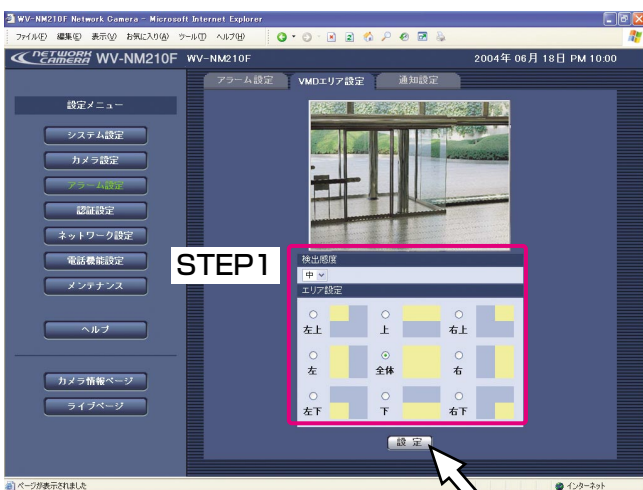
6

モーションディテクターの検出範囲を設定する [VMDエリア設定]

モーションディテクターを検出する範囲を設定します。

画面1

アラーム設定ページの [VMDエリア設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP2

[パルス幅]

「アラーム出力端子」で「パルス」を選択したときに、パルス幅を設定します。パルス幅は1～120秒の範囲で設定します。工場出荷時は、「1秒」に設定されています。

STEP4

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

STEP1

VMDエリア設定の各項目を設定します。

[検出感度]

モーションディテクターの感度を以下から選択します。高/中（工場出荷時）/低

[エリア設定]

表示されている画像を見ながら設定したいVMDエリアを選択します。

左上/上/右上/左/全体（工場出荷時）/右/左下/下/右下

STEP2

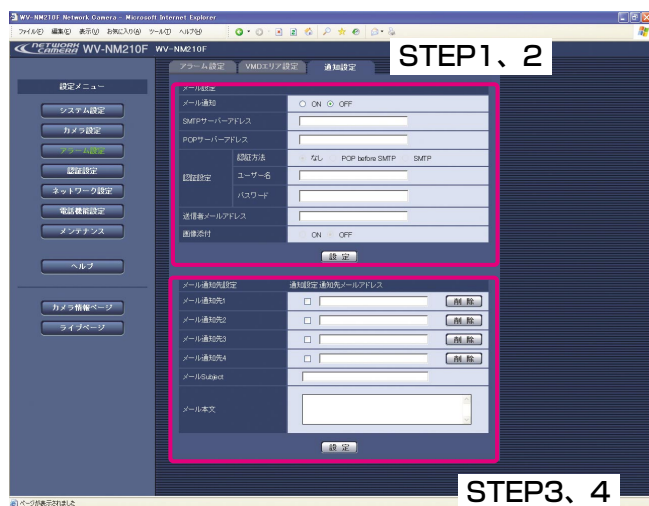
設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

メール通知に関する設定を行う [通知設定]

アラームメールに関する設定を行います。

画面1

アラーム設定ページの [通知設定] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

メール設定の各項目を設定します。

[メール通知]

アラームを検出したときにメール通知を行うかどうかをON/OFF (工場出荷時) で設定します。

[SMTPサーバーアドレス]

送信元のSMTPサーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。

SMTPサーバーアドレス入力可能文字数

: 半角英数字1~128文字

補足

SMTPサーバーのホスト名を入力した場合は、[ネットワーク設定] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→71ページ)

[POPサーバーアドレス]

[認証方法] で「POP before SMTP」を選択した場合、POPサーバーのアドレスまたはホスト名を入力します。

POPサーバーアドレス入力可能文字数

: 半角英数字1~128文字

補足

POPサーバーのホスト名を入力した場合は、[ネットワーク設定] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→71ページ)

[認証方法]

メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

なし (工場出荷時) : 認証なし

POP before SMTP : POP before SMTPで認証

SMTP : SMTPサーバーで認証

[ユーザー名]

送信元のアカウントのユーザー名を入力します。

入力可能文字数: 半角1~32文字

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

6

設定する

[パスワード]

送信元のアカウントのパスワードを入力します。

入力可能文字数：半角1～32文字

[送信者メールアドレス]

送信元のメールアドレスを入力します。

入力可能文字数：半角英数字1～128文字

[画像添付]

メール送信時に画像を添付するかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

STEP3

メール通知先設定の各項目を設定します。

[メール通知先]

通知先のメールアドレスを入力します。通知先は4件まで登録できます。

登録したメールアドレスにメールを送信したいときは、送信したいメールアドレスの欄にチェックを入れます。登録したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレス欄の [削除] ボタンをクリックします。

通知先メールアドレス入力可能文字数
：半角1～128文字

[メールSubject]

アラームメールの件名を入力します。工場出荷時は空欄になっています。

入力可能文字数：半角1～128文字（全角1～64文字）

[メール本文]

アラームメールの本文を入力します。

入力可能文字数：半角1～500文字
（全角1～250文字）

STEP4

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

ユーザー認証に関する設定を行う [認証設定]

PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証登録を行います。
最大16ユーザーまで登録できます。

画面1

認証設定ページの [ユーザー認証] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

[ユーザー認証] で、ユーザー認証を行うか行わないかをON/OFF (工場出荷時) で設定します。
ユーザー認証が「ON」に設定されている場合は、トップページに入るときにパスワードの入力が必要になります。
ユーザー認証が「OFF」に設定されている場合は、設定メニューにログインするときにパスワードの入力が必要になります。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

STEP3

ユーザー名、パスワード、アクセスレベルを設定します。

[ユーザー名]
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：半角1～32文字

[パスワード] [パスワード確認]
パスワードを入力します。
入力可能文字数：半角0～32文字

[アクセスレベル]
アクセスレベルを以下から設定します。

- 1.管理者 : 本機のすべての操作を行うことができます。
- 2.カメラ制御 : 画像の表示や本機の操作を行うことができます。本機の設定はできません。
- 3.ライブ画表示 : 画像の表示のみ可能です。本機の操作、設定はできません。

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

STEP4

ユーザー名、パスワード、アクセスレベルを設定したら、[登録] ボタンをクリックします。

STEP5

[ユーザー確認] の [▼] ボタンをクリックして、ユーザー認証に登録されているユーザー名を確認できます。右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

補足

- 登録したユーザー名の後ろの [] 内の数字はアクセスレベルを示しています。
 - 1：管理者
 - 2：カメラ制御
 - 3：ライブ画表示
 - ユーザー名「admin」は削除できません。
-

ネットワークに関する設定を行う

本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic Domain Name Service）機能に関する設定を行います。ネットワーク設定ページは、[ネットワーク設定] タブ、[DDNS設定] タブ、[FTP設定] タブから構成されています。

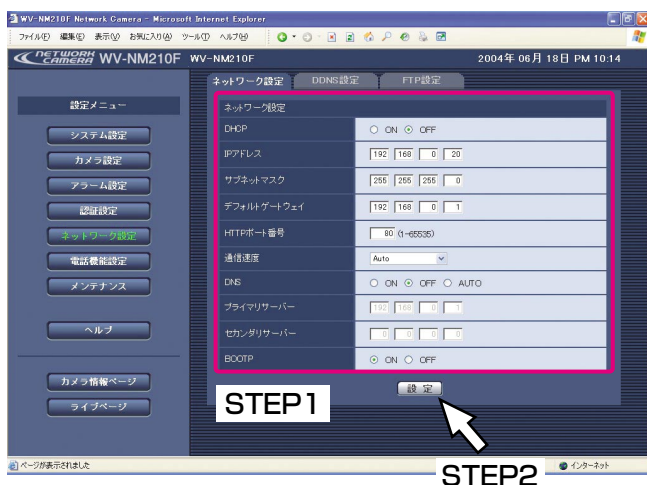
ネットワークに関する基本設定を行う [ネットワーク設定]

本機のネットワーク設定を行うには、以下の情報が必要になります。ネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ポート番号
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- DNS用プライマリサーバー、セカンダリサーバー（DNSを使用する場合）

画面1

ネットワーク設定ページの [ネットワーク設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

ネットワーク設定の各項目を設定します。

[DHCP]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用するかどうかを、ON/OFF（工場出荷時）で設定します。ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用するときは、「ON」に設定します。

[IPアドレス]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合、プライベートIPアドレスを入力します。工場出荷時は「192.168.0.10」に設定されています。ただし、PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

<IPアドレス設定不可値>

- ・ 0.***
- ・ ***.0
- ・ 255.***
- ・ ***.255
- ・ 127.0.0.1
- ・ クラスDアドレス(224.0.0.0~239.255.255.255)
- ・ クラスEアドレス(240.0.0.0~255.255.255.255)

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

<サブネットマスク設定不可値>

- ・ 0.0.0.0
 - ・ 255.255.255.255
 - ・ 0.*.*
 - ・ 127.0.0.1
 - ・ クラスDアドレス(224.0.0.0~239.255.255.255)
-

<デフォルトゲートウェイ設定不可値>

- ・ 0.*.*
 - ・ *.*.*0
 - ・ 255.*.*
 - ・ *.*.*255
 - ・ 127.0.0.1
 - ・ クラスDアドレス(224.0.0.0~239.255.255.255)
 - ・ クラスEアドレス(240.0.0.0~255.255.255.255)
-

<本機で使用しているHTTPポート番号>

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、546、547、995、10667、10668

<設定可能な通信速度>

Auto、100Mbps（全二重）、100Mbps（半二重）、10Mbps（全二重）、10Mbps（半二重）

[サブネットマスク]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合は、ブロードバンドルーターのサブネットマスクを入力します。工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

[デフォルトゲートウェイ]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合は、ブロードバンドルーターのIPアドレスを入力します。工場出荷時は「192.168.0.1」に設定されています。

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

[HTTPポート番号]

HTTPポート番号を個別に設定します。設定範囲は1～65535です。工場出荷時は「80」に設定されています。ただし、同じネットワークに接続している機器と同じポート番号は使用できません。また、左記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。

[通信速度]

データの通信速度を設定します。工場出荷時に設定されている「Auto」のままご使用することをお勧めします。

[DNS]

DNSサーバーを使用するかどうかをON/OFF（工場出荷時）/AUTOから選択します。

DNSサーバーを使用する場合は、「ON」に設定します。また、「ON」に設定した場合、DNSサーバーに関する設定が必要です。

[プライマリサーバー]、[セカンダリサーバー]

DNSサーバーを使用する場合は、DNSサーバーのIPアドレスを設定します。工場出荷時はどちらも「0.0.0.0」に設定されています。

DNSサーバーのIPアドレスはプロバイダーに確認してください。

[BOOTP]

DHCPを「ON」にした場合、BOOTPを「OFF」に設定してください。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

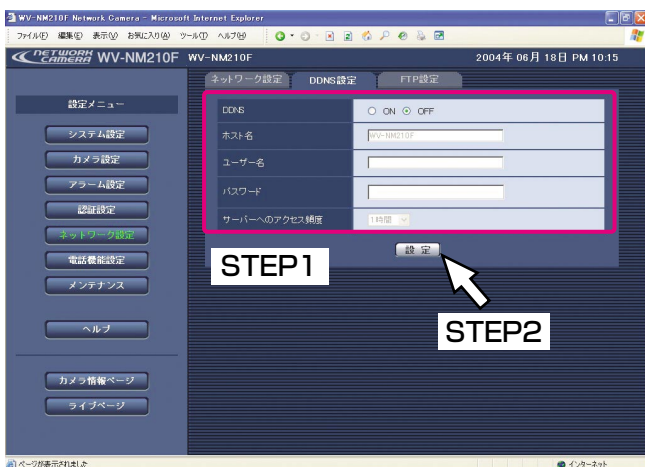
DDNSに関する設定を行う [DDNS設定]

DDNS (Dynamic Domain Name Service) 機能に関する設定を行います。DDNS機能を使用すると、本機に「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」でアクセスできるようになります。サービスを受けるには専用サーバーとの接続が必要です。DDNSのサービスについては、ホームページを参照してください。ホームページのアドレスはReadmeをお読みください。

あらかじめ、DDNSサーバーに登録したホスト名、ユーザー名、パスワードを設定しておきます。

画面1

ネットワーク設定ページの [DDNS設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

DDNS設定の各項目を設定します。

[DDNS]
DDNS機能を使用するかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。

[ホスト名]
使用するホスト名を入力します。工場出荷時は「WV-NM210F」に設定されています。
入力可能文字数：半角1～64文字

[ユーザー名]
DDNSサーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
入力可能文字数：半角1～32文字

[パスワード]
DDNSサーバーにログインするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：半角1～32文字

[サーバーへのアクセス頻度]
DDNSサーバーに対してIP設定を行う間隔を設定します。
設定できる値：1分／10分／30分／1時間（工場出荷時）／6時間／24時間

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

FTPサーバーへの画像送信に関する設定を行う【FTP設定】

撮影した画像をFTPサーバーに送信するときの設定を行います。FTPサーバーへの画像送信には、以下の2通りがあります。

- 定期送信 : 時間間隔を指定して定期的にFTPサーバーへ画像を送信します。
- アラーム送信 : 外部端子に接続したアラーム機器が動作したときや設定エリア内の映像に変化（動き）が生じたときに、FTPサーバーへ画像を送信します。

重要！

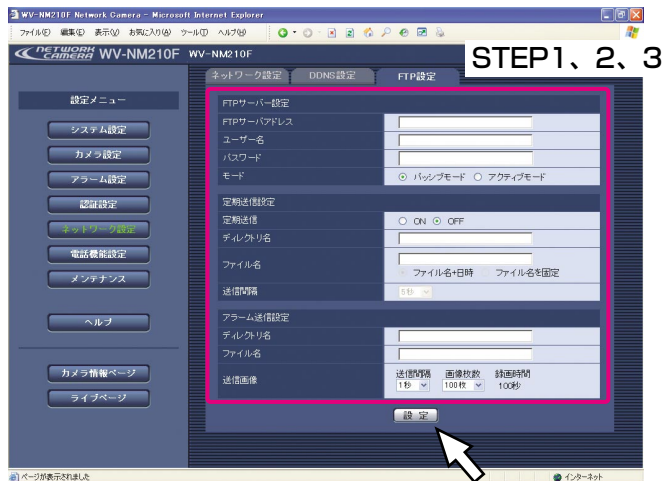
- 本機へのアクセス数やネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- 定期送信とアラーム送信を同時に設定すると、アラーム送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

6

設定する

画面1

ネットワーク設定ページの【FTP設定】タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

FTPサーバー設定の各項目を設定します。

【FTPサーバアドレス】

送信先のFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

FTPサーバーアドレス入力可能文字数
: 半角英数字1~128文字

補足

FTPサーバーのホスト名を入力した場合は、[ネットワーク設定] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→74ページ)

【ユーザー名】

FTPサーバーにログインするためのユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 半角0~32文字

【パスワード】

FTPサーバーにログインするためのパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 半角0~32文字

【モード】

送信モードをパッシブモード（工場出荷時）／アクティブモードのどちらかに設定します。

(次ページへ続く)

STEP2

定期送信の各項目を設定します。

[定期送信]

指定した時間間隔で定期的に画像を送信するかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。

[ディレクトリ名]

送信する画像ファイルを保存するディレクトリ名を入力します。

入力可能文字数：半角0～255文字

[ファイル名]

送信する画像ファイル名を入力し、送信する際のファイル名の形式を設定します。

- ・ ファイル名+日時（工場出荷時）
：入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）
+連続番号をファイル名として使用します。
- ・ ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」にすると、常に送信したファイルを上書きします。

入力可能文字数：半角0～32文字

[送信間隔]

送信間隔を以下から設定します。

1秒/2秒/3秒/5秒（工場出荷時）/10秒/15秒/20秒/30秒/1分/2分/3分/5分/10分/15分/20分/30分/60分

STEP3

アラーム送信の各項目を設定します。

[ディレクトリ名]

送信する画像ファイルを保存するディレクトリ名を入力します。

入力可能文字数：半角0～255文字

[ファイル名]

送信する画像ファイル名を入力します。送信する際のファイル名の形式は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名+送信日時（月日時分秒年）+連続番号

入力可能文字数：半角0～32文字

（次ページへ続く）

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

[送信間隔]

送信間隔を以下から設定します。

1秒（工場出荷時）／2秒／3秒／5秒／10秒

[画像枚数]

送信枚数を以下から設定します。

10枚／20枚／30枚／50枚／100枚（工場出荷時）／1 000枚／2 000枚／3 000枚／4 000枚／5 000枚

STEP4

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

FOMA端末から本機を操作する場合の発信・着信に関する設定を行う [電話機能設定]

本機にアクセスできるFOMA端末の電話番号の登録や、アラームを検出したときに本機から自動的に発信するFOMA端末の電話番号の登録など、本機の発信着信に関する設定を行います。本機のアラーム履歴や着信履歴を確認することもできます。

電話機能設定ページは、[着信設定] タブ、[発信設定] タブ、[着信履歴] タブ、[アラーム履歴] タブから構成されています。

本機への着信に関する設定を行う [着信設定]

本機にアクセスできるFOMA端末の電話番号や名前、アクセスレベルを設定します。また、登録されている番号以外からの着信を拒否（着信制限）するよう設定することもできます。

重要！

本機からの映像や音声を確認するFOMA端末以外は登録しないでください。

画面1

電話機能設定ページの [着信設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

[着信制限] で、本機への着信を制限するかどうかをON/OFFで設定します。

ON：電話帳に登録しているFOMA端末の電話番号からのみ着信を許可します。それ以外の電話番号からの着信は拒否します。

「ON」に設定していると、電話帳に登録されている電話番号であっても、電話番号が非通知の場合は着信が拒否されます。

OFF（工場出荷時）

：本機にアクセスしてきたすべてのFOMA端末の着信を許可します。

電話帳に登録されていないFOMA端末のアクセスレベルは「2.カメラ制御」になります。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

6

設定する

STEP3

[電話帳] には、登録した電話番号、名前、アクセスレベルがリスト表示されます。

電話帳には30件まで登録できます。1ページあたり10件ずつ表示されます。ページの切り替えは、[<<前の10件] 部分または [次の10件>>] 部分をクリックします。

登録した電話番号を削除したいときは、削除したい電話番号の [削除対象] 欄にチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。

STEP4

電話番号、名前、アクセスレベルを設定します。

[電話番号]

登録したい電話番号を入力します。

電話番号を入力したら、[名前] と [アクセスレベル] を設定します。

電話番号入力可能文字数：半角数字1～20文字

[名前]

登録したい名前を入力します。

入力可能文字数：半角1～20文字（全角1～10文字）

[アクセスレベル]

登録する電話番号のアクセスレベルを以下から設定します。

1. 管理者 : FOMA端末のDTMF信号を使って本機を設定、制御できます。
2. カメラ制御 : FOMA端末のDTMF信号を使って本機を制御できます。
3. ライブ画表示 : 映像の表示のみ可能になります。本機の設定、制御はできません。

STEP5

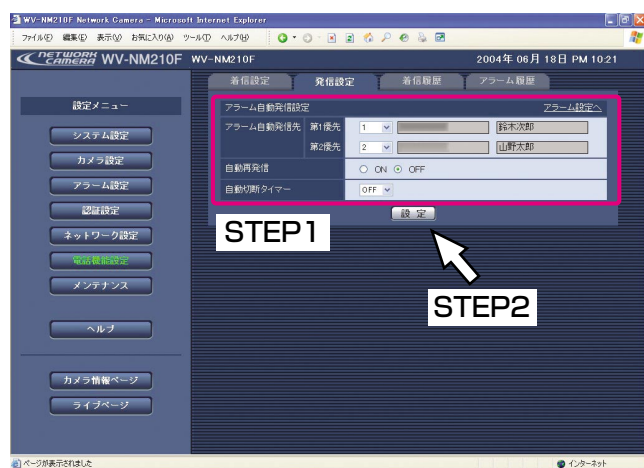
設定したら、[登録] ボタンをクリックします。

本機からの発信に関する設定を行う [発信設定]

アラームを検出したときに本機に登録したFOMA端末の電話番号へ、自動的に発信するように設定できます。

画面1

電話機能設定ページの [発信設定] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

発信設定の各項目を設定します。

[アラーム自動発信先]

アラームを検出したときに、本機から自動的に発信するFOMA端末の電話番号と名前を設定します。第1優先/第2優先の2端末を設定できます。

[▼] ボタンをクリックして、優先順位を選択します。工場出荷時は「第1優先」が「1」に設定されています。

[自動再発信]

アラームを検出したとき、接続に失敗した場合、本機から第1優先の発信先に自動的に再発信するかどうかをON/OFF（工場出荷時）で設定します。

第1優先に接続できなかった場合、第2優先の発信先が登録されていると、第2優先の接続先に接続します。再発信は、以下のような場合に60秒間隔（接続失敗～再発信までの時間）で2回まで行われます。

- 発信先が話し中の場合
- 発信先が圏外の場合
- 指定時間内に応答がない場合

[自動切断タイマー]

自動発信後、設定した時間が経過すると、本機から自動的に切断するよう設定します。

[▼] ボタンをクリックして、タイマー時間を以下から選択します。「OFF」に設定すると、自動切断しません。OFF（工場出荷時）/5分/10分/20分/30分

重要！

- 本機からのアラーム発信で接続した通信は、本機に装着したカード型FOMAに通信料金がかかります。
- 「自動切断タイマー」を「OFF」に設定している場合に、本機からのアラーム発信で接続した通信を切断するには、発信先のFOMA端末側で切断する必要があります。

補足

連続してアラーム発信を行った場合、FOMA網側の規定により、同一相手への再発信が規制される場合があります。

なお、FOMA網側では3分間に3回以内の再発信を許容しています。自動再発信を「ON」に設定した場合には、この規定に従って再発信が行われます。

STEP2

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

第1優先、第2優先、自動再発信を設定したときの動作について

第1優先、第2優先、自動再発信の設定内容によって、アラームを検出したときの動作が異なります。

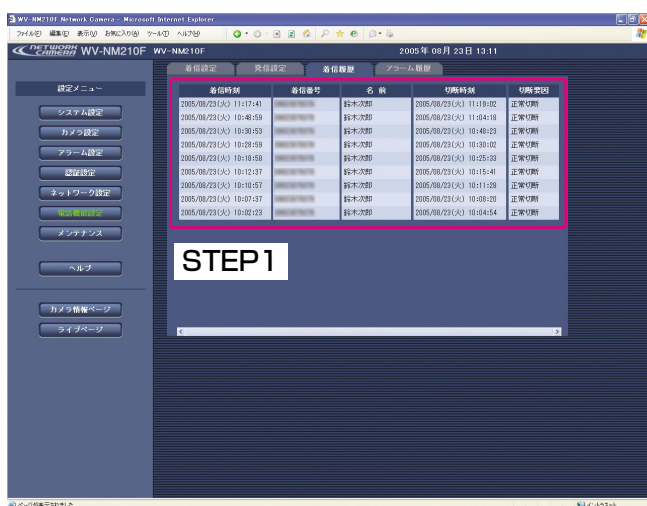
第1優先	第2優先	自動再発信	動作
あり	なし	OFF	①アラームを検出 ↓ ②本機から第1優先に指定したFOMA端末に発信
あり	あり	OFF	①アラームを検出 ↓ ②本機から第1優先に指定したFOMA端末に発信 ↓ ③第1優先に接続できなかった場合、第2優先に指定したFOMA端末に発信
あり	なし	ON	①アラームを検出 ↓ ②本機から第1優先に指定したFOMA端末に発信 ↓ ③第1優先に接続できなかった場合、再度、第1優先に指定したFOMA端末に発信 ↓ ④再び第1優先に接続できなかった場合、再度、第1優先に指定したFOMA端末に発信
あり	あり	ON	①アラームを検出 ↓ ②本機から第1優先に指定したFOMA端末に発信 ↓ ③第1優先に接続できなかった場合、第1優先に指定したFOMA端末に再発信 ↓ ④再び第1優先に接続できなかった場合、第1優先に指定したFOMA端末に再発信 ↓ ⑤本機から第2優先に指定したFOMA端末に発信 ↓ ⑥第2優先に接続できなかった場合、第2優先に指定したFOMA端末に再発信 ↓ ⑦再び第2優先に接続できなかった場合、再度、第2優先に指定したFOMA端末に発信

着信履歴を確認する [着信履歴]

本機の着信履歴を確認します。

画面 1

電話機能設定ページの [着信履歴] タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

着信の履歴が確認できます。着信履歴として以下の内容が表示されます。

[着信時刻]

本機への着信日時を表示します。

[着信番号]

本機に接続してきたFOMA端末の電話番号を表示します。

[名前]

本機に接続してきたFOMA端末が電話帳に登録されている電話番号で、名前も登録されている場合、名前を表示します。電話帳に未登録の着信番号はアンカー表示されます。アンカー表示されている電話番号をクリックすると、着信設定画面が表示され、電話番号を登録できます。(→77ページ)

[切断時刻]

通信を切断した日時を表示します。

[切断要因]

通信を切断した理由を表示します。

切断要因	説明
正常切断	正しく通信が終了したときに表示されます。
設定ログイン	通信中に設定メニューにログインし、本機とFOMA端末との通信が切断された場合に表示されます。
着信拒否	着信制限が「ON」のときにアクセスしてきたFOMA端末が電話帳に登録されていない場合や、相手が発信番号を通知しないで電話をかけてきた場合に表示されます。

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

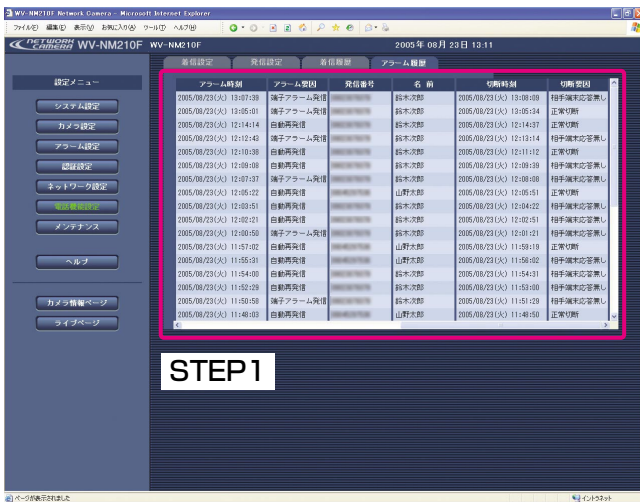
6

アラーム履歴を確認する [アラーム履歴]

本機のアラーム履歴を確認します。

画面1

電話機能設定ページの [アラーム履歴] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



切断理由	説明
圏外	アクセスしてきたFOMA端末が圏外になり、通信が切断された場合に表示されます。
カード障害	通信中にカード障害が発生した場合に表示されます。
回線障害	回線にトラブルが起こったため切断したときに表示されます。
理由不明	その他、切断理由が不明の場合に表示されます。

STEP1

発信したアラームの履歴が確認できます。アラーム履歴として以下の内容が表示されます。

[アラーム時刻]

アラームを検出した日時を表示します。

[アラーム要因]

アラームが発生した理由を表示します。

アラーム要因	説明
端子アラーム発信	端子アラームを検出したときに、本機から自動的に発信した場合に表示されます。
VMDアラーム発信	VMDアラームを検出したときに、本機から自動的に発信した場合に表示されます。
自動再発信	アラームを検出したときに、本機から自動的に再発信した場合に表示されます。
端子アラーム送信	端子アラームを検出したときに、アラーム画像を自動的にFTPサーバーへ送信した場合に表示されます。
VMDアラーム送信	VMDアラームを検出したときに、アラーム画像を自動的にFTPサーバーへ送信した場合に表示されます。

(次ページへ続く)

[発信番号]

発信先のFOMA端末の電話番号を表示します。
FTPサーバーへアラーム画像を送信した場合は表示されません。

[名前]

発信先のFOMA端末が電話帳に登録されている電話番号で名前も登録されている場合、名前を表示します。
FTPサーバーへアラーム画像を送信した場合は表示されません。

[切断時刻]

通信を切断した日時を表示します。

[切断要因]

通信を切断した理由を表示します。

● TV電話発信

切断理由	説明
正常切断	正しく通信が終了したときに表示されます。
自動切断	自動切断タイマーにより切断された場合に表示されます。
設定ログイン	通信中に設定メニューにログインし、本機とFOMA端末との通信が切断された場合に表示されます。
発信番号間違い	電話番号が間違っているときに表示されます。発信先のFOMA端末の電話番号を確認してください。
相手端末通信中	FOMA端末が通話中の場合やパケット通信中の場合に表示されます。
相手端末応答無し	FOMA端末が圏外のときに表示されます。
相手端末能力違い	TV電話に対応していない電話に発信した場合に表示されます。
カード障害	通信中にカード障害が発生した場合に表示されます。
発信規制	FOMA網側の規定により、一定時間再発信が規制されている場合に表示されます。
回線障害	回線にトラブルが起こったため切断したときに表示されます。
理由不明	その他、切断理由が不明の場合に表示されます。

(次ページへ続く)

PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

4

PCから操作する

- FTP送信

切断理由	説明
正常終了	正しく通信が終了したときに表示されます。
新規アラームによる終了	FTP送信中に新規にアラームを検出し、本機とFTPサーバーとの通信が切断された場合に表示されます。
設定ログインによる終了	FTP送信中に設定メニューにログインし、本機とFTPサーバーとの通信が切断された場合に表示されます。
TV電話による終了	FTP送信中にFOMA端末と通信を開始し、本機とFTPサーバーとの通信が切断された場合に表示されます。
異常終了	その他、終了理由が不明の場合に表示されます。

本機のメンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】

メンテナンスページでは、本機の現在の状態やエラーログの確認、ファームウェアのアップロードや設定内容の初期化を行うことができます。

メンテナンスページは [状態表示] タブ、[エラーログ] タブ、[バージョンアップ] タブ、[初期化] タブで構成されています。

本機の現在の状態を確認する【状態表示】

本機のファームウェアのバージョン情報とカード型FOMAの状態を表示します。

画面1

メンテナンスページの [状態表示] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

本機のファームウェアのバージョン情報とカード型FOMAの状態について、以下の内容を確認できます。

[バージョン情報]
ファームウェアのバージョンとIPL (Initial Program Loader) のバージョンが表示されます

[CFカード情報]
本機に差し込んでいるカード型FOMAに関する情報が表示されます。
カード種別：カード型FOMAの種別が表示されます。
局番号：カード型FOMAの電話番号が表示されます。

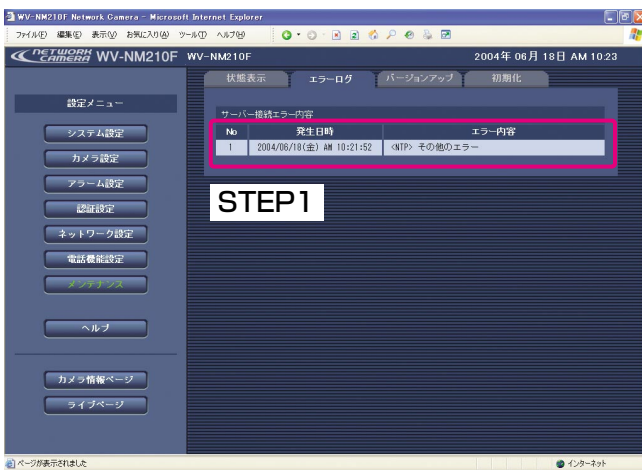
通信時間／電波レベル
：待機中の場合は、電波状態（電波レベル）が4段階で表示されます。（圏外／弱／中／強）

エラーログを確認する [エラーログ]

SMTP、DDNS、NTP、FTPサーバー接続時のエラーログを確認できます。エラーログは50件まで記録されています。

画面1

メンテナンスページの [エラーログ] タブを表示します。表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP1

エラーログが確認できます。エラーログには、以下の内容が表示されます。

[発生日時]

エラー発生日時を表示します。

[エラー内容]

エラーが発生したサーバーとエラーの詳細内容を表示します。

エラー内容について詳しくは98ページをお読みください。

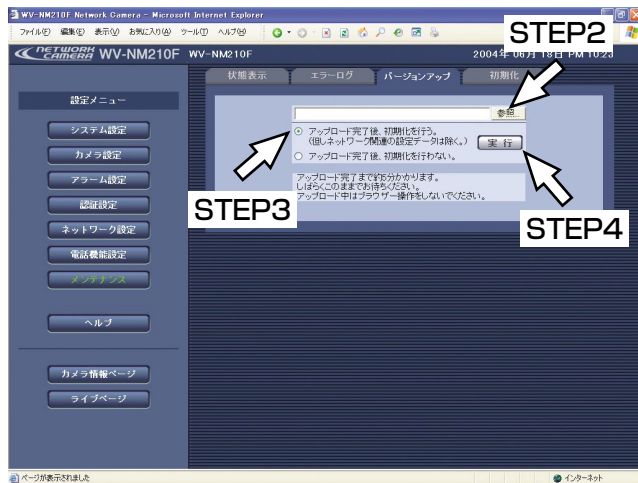
PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

ファームウェアのバージョンアップを行う【バージョンアップ】

ファームウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ファームウェアの有無は、当社ホームページで確認してください。ホームページのアドレスはReadmeをお読みください。

画面1

メンテナンスページの【バージョンアップ】タブを表示します。表示のしかたについては、52ページをお読みください。



STEP1

当社ホームページにアクセスし、最新のファームウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

STEP2

【参照】 ボタンをクリックしてダウンロードしたファームウェアを指定します。

STEP3

ラジオボタンをクリックして、アップロード後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

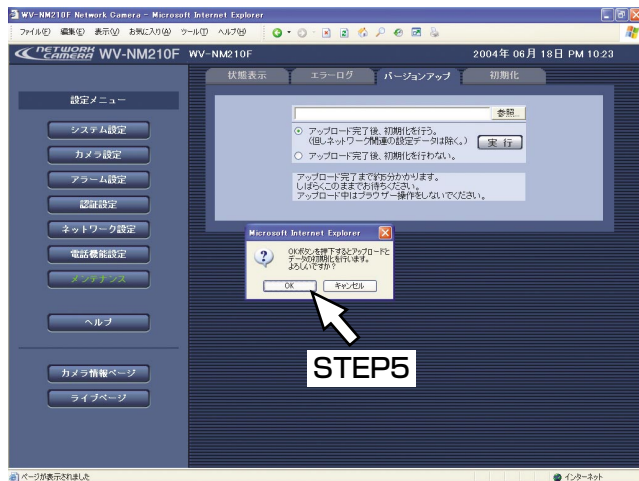
STEP4

【実行】 ボタンをクリックします。

(次ページへ続く)

画面2

アップロードの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。(アップロード後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されず、アップロードが開始されます)



STEP5

[OK] ボタンをクリックします。
→ファームウェアのバージョンアップが開始されます。
アップロードが終了するまでに5分程度かかります。
終了するとカメラ情報ページに戻ります。

重要！

- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ファームウェアを使用する場合は、同ホームページに記載されている注意事項を必ず確認し、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するファームウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するファームウェアのファイル名は、必ず「firmware.img」にしてください。
- バージョンアップ中はパワーLED（緑）と状態表示LED（赤）が点滅します。ACアダプターを本機または電源コンセントから抜かないでください。
- バージョンアップ中はウィンドウサイズの変更も含め、ウェブブラウザ画面で何も操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「初期化する」を選択した場合でも初期化されません。
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、BOOTP/DHCP/DNSサーバーのON/OFF、DNSサーバーのプライマリ・セカンダリサーバーアドレス、通信速度

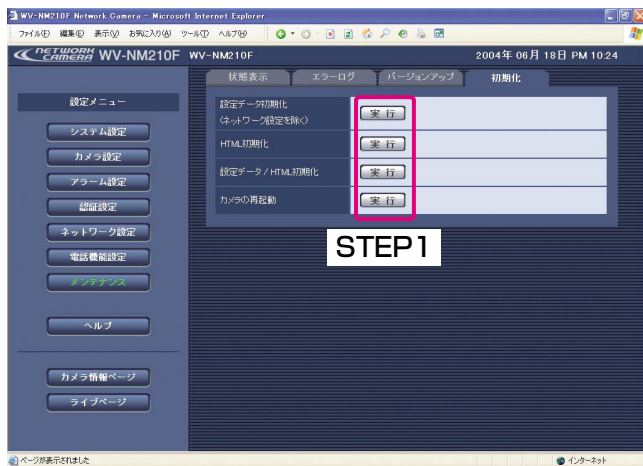
PCから設定メニューを表示して設定する（つづき）

初期化する【初期化】

設定メニューの設定内容やHTMLファイルとその設定内容を工場出荷時の状態に初期化します。
また、本機の再起動を行うこともできます。

画面1

メンテナンスページの【初期化】タブを表示します。
表示のしかたについては52ページをお読みください。



STEP 1

初期化したい各項目の【実行】ボタンをクリックします。
各項目の詳細は以下のとおりです。

【設定データ初期化】

設定メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻したい場合は、「設定データ初期化」の【実行】ボタンをクリックします。

ただし、以下のネットワーク関連のデータは初期化されません。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、BOOTP/DHCP/DNSサーバーのON/OFF、DNSのプライマリ・セカンダリサーバーアドレス、通信速度

初期化動作を行うと約1分間操作できません。

【HTML初期化】

HTMLファイルを工場出荷時に戻したい場合は、「HTML初期化」の【実行】ボタンをクリックします。

初期化動作を行うと約1分間操作できません。

【設定データ/HTML初期化】

設定メニューの設定内容とHTMLファイルを工場出荷時の設定に戻したい場合は、「設定データ/HTML初期化」の【実行】ボタンをクリックします。初期化動作を行うと約1分間操作できません。

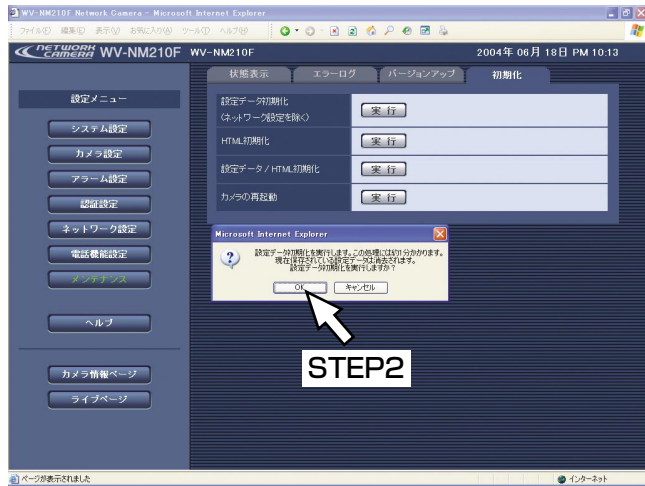
【カメラの再起動】

本機が再起動します。再起動後、電源投入時と同様に初期化動作を行うため、約1分間操作できません。

(次ページへ続く)

画面2

確認画面が表示されます。



STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

→初期化が開始されます。

再起動後は、カメラ内部に保存されたアラーム画像、アラーム履歴、エラーログが消失してしまいます。

設置とネットワークの設定を行う

設置する

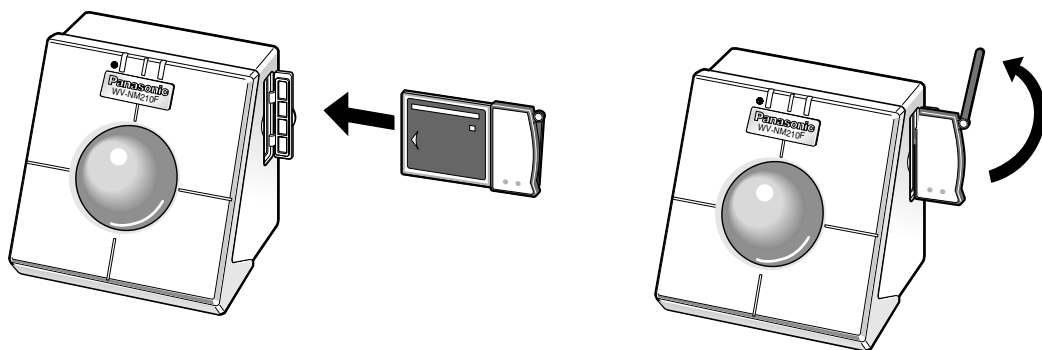
PC、iモード端末から本機を操作する際、本機にACアダプターとEthernetケーブル（カテゴリ5）を接続してください。その後、コードカバーをスライドして取り付けます。コードカバーが外れるのを防止するために、付属のコードカバー取付ねじ（2本）で締め付けてください。

FOMA端末で本機の映像を見るには、カード型FOMAを本機に差し込み、本機を設置する必要があります。

本機にカード型FOMA端末（FOMA P2402）を取り付ける

イラストのように、本機の側面にあるCFカードスロットにカード型FOMAを差し込みます。カード型FOMAは、下図のように差し込んでください。

差し込んだら、カード型FOMAのアンテナを立てます。

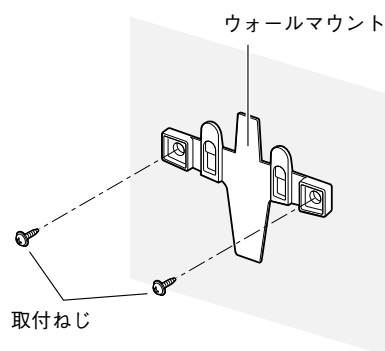


重要！

- カード型FOMAが通信中のときは、絶対にカード型FOMAを抜かないでください。本機およびカード型FOMAが故障する恐れがあります。
- 必ず、本機の電源がOFFであることを確認してからカード型FOMAを差し込んでください。

本機を設置する

本機は壁に設置したり、卓上に置いて使用したりすることができます。ここでは、壁面への取り付けを例に説明します。

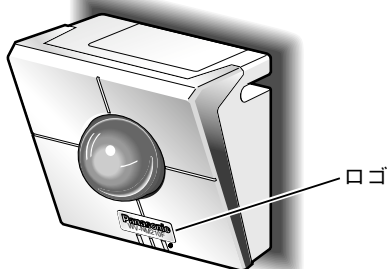
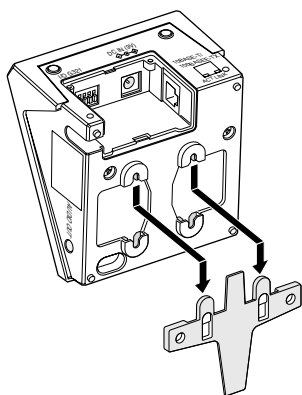


STEP1

取付ねじで壁面にウォールマウントを取り付けます。

補足

ウォールマウントを取り付ける際、本機から突出するカード型FOMAの長さ（アンテナを含む）を考慮して、取付位置を決めてください。



STEP2

左図のイラストを参照して、ウォールマウントに本機を取り付けます。

本機は上下の向きを変えても取り付けることができます。撮影したい場所に応じて、本機の上下の向きを変えてください。

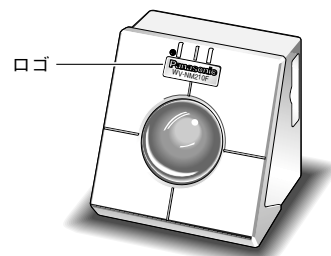
STEP3

Panasonicロゴの向きが正しく向いているかを確認します。

向きが逆になっている場合は、回転してロゴの向きを合わせます。

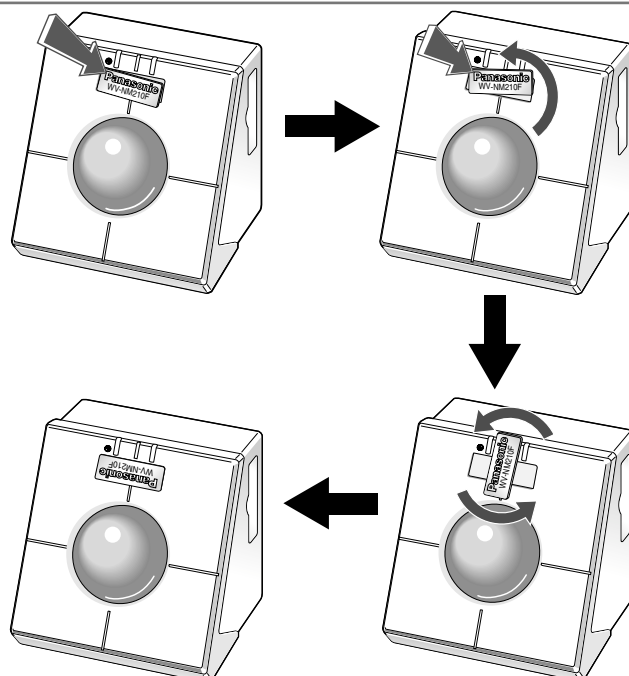
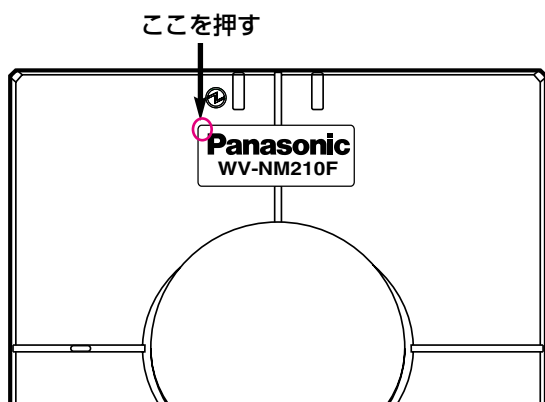
補足

卓上に置いて右のイラストの向きで本機を使用する場合は、システム設定ページの「基本設定」タブにある「設置状態」を「卓上」に設定してください（→55ページ）。また、Panasonicロゴの向きを確認してください。本機の設置状態は、FOMA端末、iモード端末でも設定できます。



<ロゴを回転する方法>

- ロゴは、角を押して反対側の端を浮かせ、反時計回りに回転させると向きを変えることができます。
- ※必要以上に力を加えないでください。
ロゴが外れた場合、押し込んで取り付けてください。



本機のネットワーク設定を行う

本機をインターネットなどのネットワークに接続し、iモード端末からの操作や、PCからウェブブラウザを使って本機の設定を行うには、ネットワークの設定を行う必要があります。

本機のネットワーク設定は、付属のIP簡単設定ソフトウェア（簡単設定ソフト）を使って行うことができます。（→95ページ）

簡単設定ソフトを使って設定できない場合は、個別に本機のネットワーク設定を行います。詳しくは71ページをお読みください。

ネットワーク設定の流れ

ネットワーク設定の流れは以下のとおりです。

1. 接続を始める前に必要な機器やケーブルを準備する（→93ページ）
2. インターネット接続機器と接続する（→93ページ）
3. IP簡単設定ソフトを使って本機のネットワークを設定する（→95ページ）

7

接続を始める前に

接続を始める前に、必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。

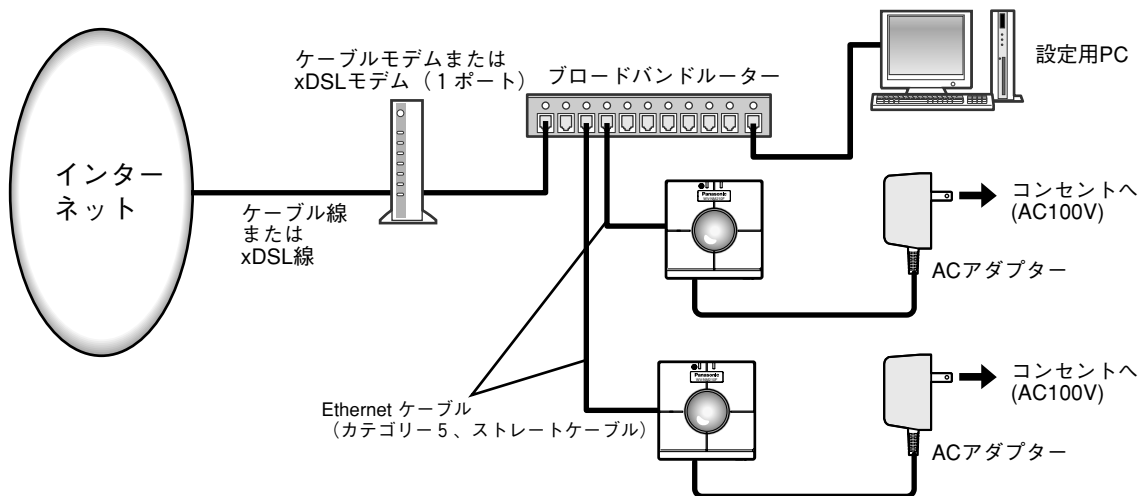
重要！

接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源をOFFにするかまたはACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

インターネット接続機器と接続する

本機をモデムまたはブロードバンドルーターに接続します。

<接続例>



<必要なハードウェア>

- ケーブルモデムまたはxDSLモデム
- ブロードバンドルーター

<必要なケーブル>

Ethernetケーブル (カテゴリ5、ストレートケーブル)

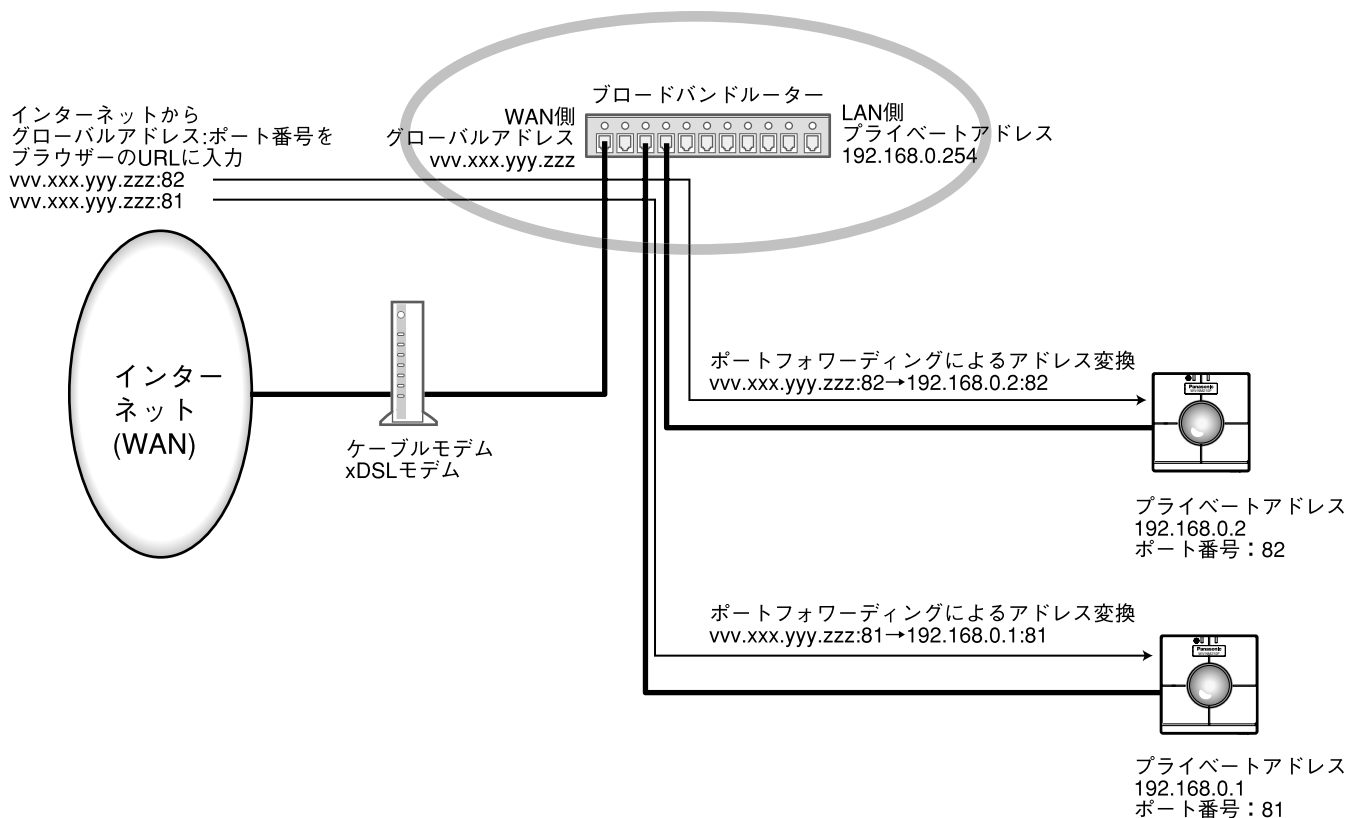
重要！

- インターネットサービスプロバイダーから固定IPアドレス (グローバルIPアドレス) を取得してください。
- ブロードバンドルーターに固定IPアドレス (グローバルIPアドレス) 設定します。また、ポートフォワーディング機能の設定が必要です。(→94ページ)
- ハブ、ブロードバンドルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはブロードバンドルーターを使用してください。
- 電源は各ネットワークカメラごとに必要です。
- 複数のネットワークカメラを利用するためには、ブロードバンドルーターの設定が必要です。さらに、各ネットワークカメラにも個別にポート番号を設定する必要があります。設定については95ページをお読みください。また、ブロードバンドルーターの設定についてはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

本機のネットワーク設定を行う（つづき）

補足

- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、静的マスカレードまたはNATアドレス変換などがあります。これらの機能はルーターに設定します。
- ブロードバンドルーターに本機を接続してインターネット経由で本機と接続するには、ネットワークカメラごとに個別のポート番号を設定し、ポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ご使用になるブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。



IP簡単設定ソフトウェアを使って本機のネットワークを設定する

本機に付属されているCD-ROM内の簡単設定ソフトを使って、本機のネットワークに関する設定を行います。簡単設定ソフトを使って設定できない場合は、個別に本機のネットワーク設定を行う必要があります。(→71ページ)

STEP1

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入すると、ランチャーソフトが起動し、「はじめにお読みください」(Readmeファイル)が表示されます。

簡単設定ソフトの項目

- IP簡単設定
- 取扱説明書 (PDFマニュアル)

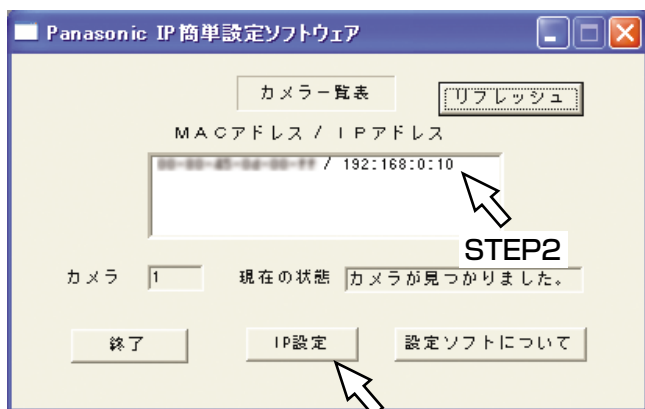
「はじめにお読みください」(Readmeファイル)を読んだ後、「IP簡単設定」をクリックします。

補足

- ランチャーソフトが表示されないときは、CD-ROM内にあるlaunch.exeをクリックしてください。
- Windows XP SP2をご使用の場合、IP簡単設定ソフトを起動すると、セキュリティの重要な警告画面が表示されることがあります。この場合は、[ブロックを解除する (U)] ボタンをクリックしてください。
- ファイヤーウォール (ソフト含む) を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。許可しないとIP簡単設定ソフトは使用できません。

画面1

簡単設定ソフトが起動します。
接続されている本機のMACアドレスとIPアドレスが表示されます。(表示されない場合は、[リフレッシュ] ボタンをクリックしてください)



STEP3

STEP2

設定する本機のMACアドレス/IPアドレスをクリックします。

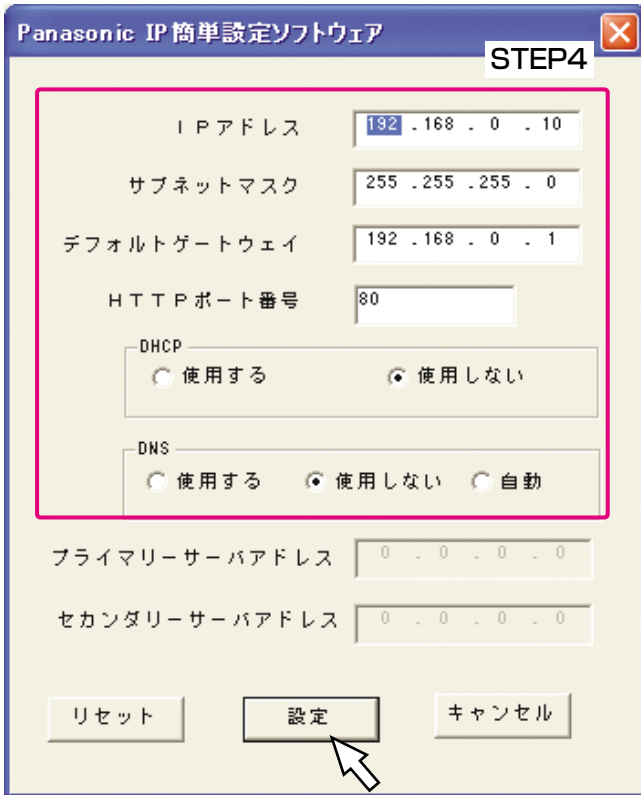
STEP3

[IP設定] ボタンをクリックします。

本機のネットワーク設定を行う（つづき）

画面2

設定画面が表示されます。



STEP4

ネットワークの各項目を設定します。

[IPアドレス]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合は、プライベートIPアドレスを設定します。ただし、PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

補足

インターネット経由で本機にアクセスする場合、ブロードバンドルーターのIPアドレスとして固定IPアドレス（グローバルIPアドレス）を指定し、かつポートフォワーディング機能を設定してください。（→94ページ）

[サブネットマスク]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合は、ブロードバンドルーターのサブネットマスクを設定します。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

[デフォルトゲートウェイ]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は設定不要です。

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用しない場合は、ブロードバンドルーターのIPアドレスを設定します。詳しくはブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。

[HTTPポート番号]

HTTPポート番号を設定します。ただし、同じネットワークに接続している機器と同じポート番号は使用できません。また、以下のポート番号は、本機で使用していますので、設定できません。

ポート番号：20、21、23、25、42、53、67、
68、69、110、123、161、162、
546、547、995、10667、10668

（次ページへ続く）

[DHCP]

ブロードバンドルーターのDHCP機能を使用する場合は、「使用する」に設定します。

[DNS]

DNSサーバーを使用する場合は、「使用する」に設定します。ただし、「使用する」に設定した場合、DNSサーバーに関する設定が必要です。

STEP5

設定したら、「設定」ボタンをクリックします。

重要！

「設定」ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約20秒かかります。設定が完了する前にACアダプターやEthernetケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。

エラー表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	原因	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP/SMTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。・POPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	POP/SMTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。・SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

DDNSに関するエラー表示

分類	原因	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・ DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起きました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	原因	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ・ NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ・ DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	

エラー表示について（つづき）

FTPに関するエラー表示

分類	原因	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	FTPサーバーがダウンしている可能性があります。
	FTPサーバー見つからず	
接続エラー	送信エラー	・ FTPクライアント設定が間違っている可能性があります。 ・ 各表示内容の設定が間違っています。
	アクティブモードで再接続しました	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリ変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	FTPクライアント設定が間違っている可能性があります。

8

その他

DTMF一覧

■すべてのユーザーができる操作

重要!

着信制限が「ON」のときは、アクセスレベルが「2.カメラ制御」以上に設定されている電話番号のFOMA端末からのみ操作できます。着信制限が「OFF」のときは、電話番号を登録していないFOMA端末からも本機を操作できます。

●水平位置・垂直位置（パン・チルト）の調節

カメラの向きを右に移動

: (6) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを左に移動

: (4) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを上を移動

: (2) → (1) ~ (9) → #

カメラの向きを下に移動

: (8) → (1) ~ (9) → #

メモ

(1) ~ (9) はステップ数になります。押した数字ボタンのステップ分移動します。例えば (6) → (2) → # を押すと、2ステップ右に移動します。1ステップだけ移動する場合は、上下左右いずれかに移動するボタン ((6)、(4)、(2)、(8) ボタンのいずれか) → # で移動できます。ステップ数を指定する必要はありません。

●プリセット位置へ本機カメラの向きを移動

(1) → (1) ~ (8) → #

メモ

(1) ~ (8) はプリセット番号になります。押した数字ボタンのプリセット位置へカメラの向きが移動します。

●カメラの向きを対象のプリセット位置へ順番に移動（プリセットスキャン）

(1) → (9) → #

●本機カメラの向きを左右に移動（ワンタイムパン）

(1) → (0) → #

●明るさの調節

暗くする : (5) → (8) → #

明るくする : (5) → (2) → #

工場出荷時（「0」）の明るさにする

: (5) → (5) → #

●倍率の調節

拡大する : (3) → (2) → #

縮小する : (3) → (8) → #

等倍にする : (3) → (5) → #

●音声の通信モード切替

スピーカーモード : (0) → (3) → #

マイクモード : (0) → (1) → #

双方向モード : (0) → (5) → #

●マイク音量の調節

ミュート : (0) → (0) → (0) → #

ミュート解除 : (0) → (0) → (1) → #

大きくする : (0) → (2) → #

小さくする : (0) → (8) → #

●AUXの設定

High : (7) → (1) → #

Low : (7) → (0) → #

●ライブ画像／アラーム画像切り替え

ライブ画像に切り替え : (9) → (0) → #

アラーム画像に切り替え : (9) → (1) → #

次のアラーム画像へ : (9) → (6) → #

前のアラーム画像へ : (9) → (4) → #

DTMF一覧（つづき）

■アクセスレベルが「1.管理者」のみできる操作

●プリセット位置を登録

＊ → 1 → (1 ~ 8) → #

メモ

1 ~ 8 はプリセット番号になります。押した数字ボタンの番号にプリセット位置が登録されます。

●音声モードを設定

ON : ＊ → 0 → 1 → #

OFF : ＊ → 0 → 0 → #

●端子アラームを設定

ON : ＊ → 2 → 1 → #

OFF : ＊ → 2 → 0 → #

●VMDアラームを設定

ON : ＊ → 3 → 1 → #

OFF : ＊ → 3 → 0 → #

●VMDエリアを設定

左上 : ＊ → 3 → 2 → 1 → #

上半分 : ＊ → 3 → 2 → 2 → #

右上 : ＊ → 3 → 2 → 3 → #

左半分 : ＊ → 3 → 2 → 4 → #

全体 : ＊ → 3 → 2 → 5 → #

右半分 : ＊ → 3 → 2 → 6 → #

左下 : ＊ → 3 → 2 → 7 → #

下半分 : ＊ → 3 → 2 → 8 → #

右下 : ＊ → 3 → 2 → 9 → #

●VMD検出感度を設定

高 : ＊ → 3 → 3 → 2 → #

中 : ＊ → 3 → 3 → 5 → #

低 : ＊ → 3 → 3 → 8 → #

●着信制限を設定

ON : ＊ → 4 → 1 → #

OFF : ＊ → 4 → 0 → #

●自動再発信を設定

ON : ＊ → 4 → 2 → 1 → #

OFF : ＊ → 4 → 2 → 0 → #

●設置状態を設定

卓上 : ＊ → 5 → 0 → #

壁掛け : ＊ → 5 → 1 → #

上下反転 : ＊ → 5 → #

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	▶ 後面の電源プラグ入力に、ACアダプター(付属品)は根元までしっかりと差し込まれていますか?	14
	▶ ACアダプターの電源コードが、コンセントに確実に差し込まれていますか?	—
LEDが点滅している	▶ パワーLED(緑) はFOMA端末とPCから本機にアクセス中に点滅します。 また、[カメラ情報ページ] ボタン、[ライブページ] ボタンをクリックせずに設定メニューからログアウトした場合、約5分間は点滅し続け、その間は、FOMA 端末、iモード端末、PCから接続できなくなります。	14
FOMA端末と接続できない	▶ 状態表示LED (赤) はバージョンアップ中に点滅します。カード型FOMA端末が、本機のCFカードスロットに正しく挿入されていますか?	90
	▶ カード型FOMAが、異常状態になっていませんか? カード型FOMAのLED表示を確認してください。(カード型FOMAのLED表示については、カード型FOMAの取扱説明書をお読みください)	—
	▶ FOMA端末または本機のある場所が、FOMAサービスのエリア外、または電波の届かない場所にありませんか?	—

故障かな!? (つづき)

症 状

原 因 ・ 対 策

参照ページ

FOMA端末からの発信時に、本機に接続できない

FOMA端末から「TV電話発信」でかけていますか？
※「音声電話発信」でかけた場合は接続できません。

—

本機の「着信制限」設定が「ON」に設定されていませんか？
「ON」に設定されている場合は、次の点を確認してください。

- FOMA端末の電話番号が本機の電話帳に登録されていますか？
- FOMA端末の発信者番号通知設定が「非通知設定」になっていませんか？

77

本機が設定中、TV電話中ではありませんか？
しばらくしてから再度発信してください。

33

本機からのアラーム発信時に、FOMA端末と接続できない

アラーム通知方法が「TV電話発信」に設定されていますか？

65

FOMA端末からDTMF信号を使って本機の操作ができない

FOMA端末のDTMF送信機能は有効になっていますか？

—

操作側のFOMA端末のアクセスレベルは「2.カメラ制御」または「1.管理者」に設定していますか？
アクセスレベルが「3.ライブ画表示」の場合は、FOMA端末からの操作ができません。

78

FOMA端末、または本機の周囲が騒がしくありませんか？
周囲が騒がしい場合、DTMF操作ができない場合があります。

—

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
FOMA端末でアラーム画像が表示できない	<p>▶ 接続しているFOMA端末は、アラーム発信先として本機に登録されていますか？</p> <p>アラーム画像を表示できるユーザーは、アラーム発信先として登録されたユーザーに制限されます。</p>	79
FOMA端末と接続中に、画像にノイズが入る	<p>▶ 本機またはFOMA端末の電波レベルが弱くありませんか？</p> <p>電波状態が悪い場合、画像にノイズが入ることがあります。</p> <p>移動中に携帯電話を使用している場合も画像にノイズが入ることがあります。</p>	-
画像がぼやけている	▶ 本機のドームカバーが汚れていませんか？	-
	▶ 本機が被写体から70 cm以上はなれていますか？	-
FOMA端末で接続中に、本機からの音声聞こえない	▶ 本機の「音声モード」は「ON」に設定されていますか？	62
	▶ FOMA端末が「マイクモード」または「双方向モード」になっていますか？	19
	▶ 「マイク音量」が「ミュート」になっていませんか？	20

故障かな!? (つづき)

症 状

原 因 ・ 対 策

参照ページ

FOMA端末と接続中に、本機に接続したスピーカーからFOMA端末の音声がかえらない

▶ 本機の「音声モード」は「ON」に設定されていますか？

62

▶ FOMA端末が「マイクモード」になっていませんか？

19

▶ ステレオミニプラグ対応アンプ付きスピーカーが接続されていますか？

—

▶ 音声出力ジャックにプラグがしっかり挿入されていますか？

—

▶ 音声出力ジャックに挿入されているプラグがモノラルタイプではありませんか？
音声出力ジャックはステレオプラグ対応のため、モノラルプラグはステレオプラグへの変換プラグを使用してください。

—

ブラウザからアクセスできない

▶ 後面のコードカバー内部にあるEthernetコネクタにカテゴリ5のケーブルは接続されていますか？

14

▶ Ethernetコネクタ横のリンクLEDは点灯していますか？
点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。
ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。

14

▶ 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？

71

▶ 表示用プラグインソフトウェアはインストールされていますか？

31

(次ページへ続く)

症 状

原 因 ・ 対 策

参照ページ

ブラウザからアクセスできない

間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？
次の方法で接続を確認してください。
> ping 「WV-NM210Fに設定したIPアドレス」
で、WV-NM210FからReplyが返ってくれば、本機は正常に動作しています。
▶ Replyが返ってこない場合は、一度電源をOFFにして、次の設定を行ってください。
(1) IP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。
(2) 後面にある初期化スイッチを押して、本機の初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。

14
95

▶ 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？

71

設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットワークが矛盾していませんか？
▶ ● 同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合
本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、ブラウザで「プロキシサーバを使う」設定になっていませんか？
同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。
● 本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合
本機に設定したデフォルト・ゲートウェイの値は間違っていないですか？

71

画像が更新されない

▶ ネットワークの混雑具合や、本ユニットへのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。ブラウザを更新して、画像の取得要求を行ってください。

—

▶ ご使用のウェブブラウザやバージョンによっては、画像が更新されなかったり、カメラ制御などの操作に不具合が発生する場合があります。
Internet Explorer 6.0SP2のご使用をお勧めします。

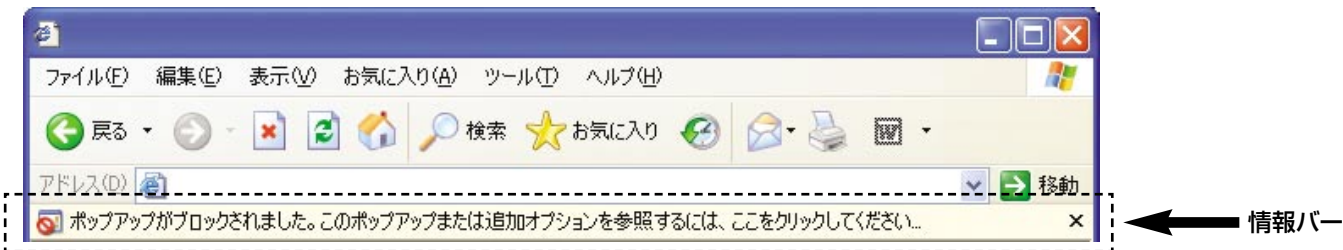
—

故障かな!?(つづき)

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



8

その他

症 状	対応方法	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none">● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	—
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	<ul style="list-style-type: none">● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「インターネット」 - 「その他」 - 「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	—

仕様

本機

有効画素数	38万画素 768 (H) × 494 (V)
レンズ	F 1.8 水平画角48 ° 合焦範囲：70 cm～∞
最低照度	3 lx
パン (左右)	140° (-70° ~ +70°)
チルト (上下)	120° (-90° ~ +30°) 壁取付時
パン/チルトプリセット	8ポジション

その他の仕様

圧縮方式	MPEG-4またはJPEG
解像度	JPEG : VGA (640×480) / QVGA (320×240) / QQVGA (160×120) MPEG-4 : QCIF (176×144)
音声圧縮方式	AMR
音声通信	プレトーク方式による切り替え式 (集音拡声切替方式)
インターフェース	10Base-T / 100Base-TX ポート (RJ-45) × 1 CFカード : Type 1、2共用スロット アナログ音声出力 (3.5ステレオジャック : 外部ステレオアンプとスピーカー必要)
アラーム入力	OFF : オープンまたはDC4 V ~ DC5 V ON : GNDとのメイク接点
アラーム出力	OPEN : オープンまたはDC4 V ~ DC5 V 外部からの最大印加電圧20 V CLOSE : GNDとのメイク出力 (100 mA以下)
AUX出力	コレクタ出力 (内部プルアップ) OFF : オープンまたはDC5 V以下 ON : 50 mA以下、DC 1 V以下
質量	約320 g (ACアダプター除く)
寸法	高さ96.5 mm × 幅95 mm × 奥行き77.4 mm (ウォールマウント含まず)
電源	DC9 V、800 mA (付属のACアダプターを使用のこと)
ACアダプター (付属)	AC100 V、50 / 60 Hz、22 VA (品番 : NOJAEG000002)
使用温度、湿度範囲	0 °C ~ +40 °C、湿度90 %以下 (結露しないこと)

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410